## 1補助金の概要

補助金名称	旭川市営農改善推進協議会負担金									
補助金の性格	団体への事	業費補助					始期	H30	終期	_
予 算 事 業 名	グリーンツー	-リズム推進	費				(事業コー	ド)	06240	1
所 管 部 署		農政 部		農政 課		経営3	支援 係 電	話番号	内線 8-	3714
交付先(団体,個人等)	旭川市営農	改善推進協	議会							
交付目的	(対象) 誰, 何に対し			持続的な発 市営農改善			の確立を図る	るため, 経営	•生産対策(	こ取り組ん
ניו בו ניו	(意図) どういう状態							実施する農作   上化、農業経		
対象事業等の内容	・農家民泊等・情報紙の多・市内小・中	発行	体験支援	など						
積算方法	同推進協議会の運営及び上記に掲げる事業の実施に要する経費について、各種事業の必要性などを検討して予算 の範囲内で積算する。									
	① 農家民	泊補助金交	付件数		単位:件	② 市内小・	中学校農作業	業体験補助金	交付学校数	単位∶校
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	-	-	2	0	1	_	-	5	5	5
*	0	許可取得農	家数		単位:人	② 市内小	•中学校農作	乍業体験者数	Į	単位:人
成果指標と過去5年間の まま	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	_	-	1	0	1	_	_	223	345	135

令和3年度(予算)
313
04 494
126
04 933
0% 52.9%
91 933
13
04 494
0.1
37 747
41 1,241
35 420
2,955
見定に抵触しない
<del>7</del>
3
こ充てられており、整合性が
こん こうれいこのうり、走口 圧が、
7

		ΙЩ			
	項目		チェック項目等		→ 評価
		◇ 事業	業費は調査、研修、懇親会等を対象外		合致する
	/4 / 土1 45 47 #	◇ 運	営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外		
	(1)対象経費	◆ 例 タ	外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象		概ね合致する
			糧費等,原則対象外経費を補助対象		合致しない
			正な負担を設定		合致する
	(2)受益者負担	• -	ニッス・ニー・ス・ニー・ス・ニー・ス・ニー・ス・ニー・ス・ニー・ス・ニー・ス・ニ		
		<u>↓                                    </u>		П	合致しない
			体 1/2以内		合致する
1	(3)補助率の参考		人 1/3以内	_	
補	基準	•	人等に対する利子補給 5%以内		
助介	227	<u>◇</u> 上i			合致しない
金		•	記以介 一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)		有(4年未満)
父		₩ IHJ	一凹体に対する補助,4半で口座に元直し、クヒロルスほぼにぼるロクノは、ペノ		有(4年水洞) 有(4年以上)
刊		ヘ 将F	다마사지보다 妙비소라스		
<b></b> 推			励目的の補助、終期を設定		継続4年未満
補助金交付基準との	(4)見直し期間 (終期設定)	◇ 於;	期未設定で, 補助継続4年以上	Ш	同一団体, 奨励目的補助ではな い(対象外)
の適^					同一団体補助だが、見直し設定し ていない
適合性					奨励目的補助だが、終期を設定し ていない
	(5)交付規程	◆ 交付	付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅		合致する
	(支出根拠)	◇ 上記	記以外		合致しない
		-	積報告時,支出証拠書類提出有		合致する
			の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施		(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する		積報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		概ね合致する
	書類の添付		類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)		190.10 11 25 7 9
		◇ Li		П	合致しない
		•	助金の公益性を、具体的に記入する)		の内容を踏まえての評価)
			助金は、旭川市営農改善推進協議会の運営費を一部負担するものであり、旭川市営農		公益性が高い
21	\$益性 	改善推选	進協議会は、地域農業の持続的な発展と安定した農業経営の確立を図るため、関係機 が一体となって、経営・生産対策に取り組み、計画的かつ総合的な営農改善の強力な		A III (12.10) V
			図ることを目的とすることから、公益性は高い。		公益性が高いとは言えない
			助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左	の内容を踏まえての評価)
			可営農改善推進協議会では、中核経営者育成支援、新規就農確保対策、グリーン・ツー		必要性が高い
31		リズム推	<b>推事業など,幅広い活動を継続的に実施しており,今後も地域農業の持続的な発展と</b>	_	
			と農業経営の確立を図るためにそれらの活動が必要になることから、旭川市営農改善推会への負担金の必要性は高い。		必要性が高いとは言えない
		(この補	助金によってどのような効果があったのかを、具体的に記入する)	(左	の内容を踏まえての評価)
۸ ۲	J. 60		年度においては、農家民泊申請手数料補助を利用して、1件の農家民泊の新規開業が		効果が高い
4%			中学校農作業体験モデル事業では、市内の5校に対して補助金を利用した農作業体験		
			され, 都市農村交流の活性化や都市住民に対する農業・農村への理解の促進が図られ ら, 効果は高い。		効果が高いとは言えない
			つ,別末は高い。 :交付基準との適合性」で合致しない理由について,記載し説明すること。		
_ Z	その他	, J.III 777 775	ストを中での原では、これがいるが、石田について、山東のからに、ちゃっと。		
57	-071LB				

## 4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度 具体的な内容と効果

### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

<u>0王                                    </u>	Щ	
評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	今後も、都市農村交流に関する活動への需要が見込まれており、また、当該団体への支援を通じて、都市農村交流の活性化や都  市住民に対する農業・農村への理解促進が図られることから補助を継続する。
外部評価	_	
2次評価	継続	_

## 1補助金の概要

補助金名称	旭川市営農改善推進協	協議会負担金	2						
補助金の性格	団体への事業費補助	始期	R2	終期	R2				
予 算 事 業 名	新規就農確保•育成対	策費				(事業コ-	ード)	06210	06
所 管 部 署	農政 部		農政 課		経営す	を援 係 電	話番号	内線 8	3-3714
交付先(団体,個人等)	旭川市営農改善推進協	協議会					-		
六什只的	(対象) 誰, 何に対して								
交付目的	(意図) どういう状態にしたい		うため、情	報を広く発信			ち々に本市で な状況下で <sup>。</sup>		
対象事業等の内容	・オンライン相談会の実	推							
積算方法	同推進協議会の運営及び上記に掲げる事業の実施に要する経費について、各種事業の必要性などを検討して予算 の範囲内で積算する。								食討して予算
	① オンライン相談会参	泳加人数		単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績				10					
	① オンライン相談会参	加人数		単位:人	2		•		<b>単</b> 位:
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績				10					

ر2	又支制	<b>犬況等</b>					単位∶千円				
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)				
		前年度繰越									
補	収	市補助金				350					
助动	入	協議会負担									
象	内訳										
事	訳										
補助対象事業等		その他									
の	収入	、合計				350					
収	市補	助率(%)				100.0%					
文业	支出	l合計				350					
収支状況		うち食糧費,交際費									
		度繰越				0					
		財源									
		財源				350					
市台	人	正職員				0.1					
市負担額	人件#	金額				737					
額		臨時・嘱託/会計年度任用職員									
		他事務費									
	合計					1,087					
		象者数				10					
補	助金	単位コスト(単位:円)				108,700					
		共通事項			ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない				
			◆ 交付申請等が定めた								
<b>注</b>	格性	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ		り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている					
迥	竹工	会計処理等	◆ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判断	新し, 妥当である						

	国が現日に対する品		
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	 (1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
4		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
拙	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
册	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◆ 上記以外	■ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	/ 4\	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
適			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
生			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(a) + 11 + = x + z	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
_ /	\ <del>}  </del>		■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	歳代に対し、本市での営農を将来の候補としてもらうことを目的としており、公益性は高い。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 i	必要性		■ 必要性が高い
Jy	少女に	ある。	
			□ 必要性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
4兹	为果		■ 効果が高い
		続相談となっている者も出ている。	□ 効果が高いとは言えない
		1(2), (3)	
57	その他	1(2), (3)   新型コロナウイルス感染症対策として, 緊急に新規就農者確保のためのオンライン相談会を支援	きするため、また、全額、国の臨時交
		付金の対象経費として実施したものであるため。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価) 補助金名称(当時)

州 切 並 石 かく ヨ 吋 /	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

<u>0 主 体的計1</u>		
評価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	_	
2次評価	終了	

## 1補助金の概要

補 助 金 名 称	農業所得調査等因	団体補具	助金							
補助金の性格	団体への運営費剤	甫助					始期	H29	終期	_
予 算 事 業 名	農業経営指導費						(事業コ	<b>ード</b> )	0623	02
所 管 部 署	農政	女 部		農政 課		ļ.	農政 係	電話番号	内線8-	-3712
交付先(団体,個人等)	農業所得調査等因	団体								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して									
נים פו נין ב	(意図) どういう状態にした	意図) 市内農業者の農業所得に関する諸業務の円滑化								
対象事業等の内容	団体が実施する	農業所	<b>听得に関して</b>	〔必要な調査	た、協議及び	税申告に関	する諸業	務に対して補	助金を交付	゚゙する。
積算方法	   補助対象経費 <i>の</i> 	2分の	1以内とし,	予算の範囲	内において	交付金額を	定める。			
	① 交付団体数				単位:団体	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H2	29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績		6	5	5	5					
h = 11.1= = 1	① 申告件数		•		———— 単位∶件	2	-	•	•	単位:
成果指標と過去5年間の	H28 H2	29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績		2,453	2,187	1,603	1,504					

\ <u>\</u>	<b>「</b> 次寺					単位∶十円
		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	前年度繰越	2,905	2,299	1,981	1,313	1,226
סנו	市補助金	6,022	5,036	5,036	5,036	4,534
入	協議会負担	19,895	12,197	12,584	11,659	11,022
内						
沉						
	その他					
収入	.合計	28,822	19,532	19,601	18,008	16,782
市補	助率(%)	20.9%	25.8%	25.7%	28.0%	27.0%
支出	合計	24,365	17,551	18,288	16,782	16,782
	うち食糧費,交際費					
次年	度繰越	4,457	1,981	1,313	1,226	0
一般	財源	6,022	5,036	5,036	5,036	4,534
特定	財源					
人	一正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
件	金額	721	728	737	737	747
貨	臨時·嘱託/会計年度任用職員					
		6,743	5,764	5,773	5,773	5,281
<b>益対</b>	象者数	2,453	2,187	1,603	1,504	1,504
力金草	単位コスト(単位:円)	2,749	2,636	3,601	3,838	3,511
	共涌事項			ている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規定	に抵触しない
	,	◆ 交付申請等が定めた。				
タルナ	団体の運営,				との整合性がとれている	
计计	会計処理等					
		会計処理については,実地 	也調査により支出を証する	書類等を検査しており, 適፤	正に処理されている。	
		-    ※人件費(正職員分)は	. 平成29年度7,205千円	,平成30年度7,282千円	,令和元年度7,369千円	. 令和2年度7.366千
	収入内訳 収市支 次一特 人件費 そ合 対	前年度繰越 市補助金 協議会負担 その他 収入合計 市補助会 その他 収入合計 市補助会 を合計 を会計 を機越 一般財源 大件費 を機越 一般財源 大件費 をの他事務費 その他事務費 合計 を対象者数 か金単位コスト(単位:円) 共通事項 団体の運営,	中成29年度(決算)	平成29年度(決算) 平成30年度(決算) 前年度繰越 2,905 2,299 市補助金 6,022 5,036 協議会負担 19,895 12,197  その他 28,822 19,532 市補助率(%) 20,9% 25,8% 支出合計 24,365 17,551 うち食糧費,交際費 7年度繰越 4,457 1,981 一般財源 6,022 5,036 特定財源 6,022 5,036 特定財源 721 728 協時・環託/会計年度任用職員 721 728 協計・環託/会計年度任用職員 721 728 協計・環託/会計年度任用職員 721 728 協計・環託/会計で度任用職員 721 728  は対象者数 2,453 2,187 か金単位コスト(単位:円) 2,749 2,636  大通事項 5,764 大通事項 ◆ 支出根拠が法令、条例、規則、要綱等に基づい ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている 団体の運営、◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的 ◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判匿 会計処理については、実地調査により支出を証する。	平成29年度(決算) 平成30年度(決算) 令和元年度(決算)   1,981	平成29年度(決算)   平成30年度(決算)   令和元年度(決算)   令和2年度(決算)   令和2年度(決算)   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。   で和2年度(共享)   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。   での第一年を表します。   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。   で和2年度(決算)   での第一年を表します。   での第一年を表します。

	型別項目に対する計 項目	チェック項目等	➡ 評価
	XI	◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
		◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	<ul><li>■ 合致する</li></ul>
	(2)受益者負担	◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
	(-//	<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
り全		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交付		◆ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)目志! 期間	◇ 終期未設定で,補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
ے	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の海			□ 同一団体補助だが、見直し設定し
迎合			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
'-			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 実績報告時,支出証拠書類提出有	□ 合致する (************************************
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	- A 1
		◇ 上記以外 (5.6.148)	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	\$益性	地域の実情や農業に詳しい団体から、特殊性のある農業所得の税申告等に係るサポートを受けることができることは、経営改善等にもつながり、本市農業の振興に寄与するものであるが、	□ 公益性が高い
		当該団体に加入していない農家は、その利益を得られていないことから、公益性が高いとは言え	
		ない。	■ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
2.5	ᄼᄑᆘ	各地域では当該業務を行う唯一の団体であるが収益性にとぼしいため、補助金がなくなった場	■ 必要性が高い
3必要性		合, 団体又は事業の維持が困難となる。団体の解散又は事業廃止となった場合, 高齢農家や農 業にまだ不慣れな後継者及び新規就農者には費用面や作業面での負担が大きくなり, また. 気	
		来によたれ侵れなる機能有及び制度が最高には負用面で下来面での負担が入されなり、よた、X 軽に経営に関して相談できる環境を失う事になりかねない。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4 2	力果	農業所得調査等団体5団体の運営費の28%を負担することで各団体の運営維持が図られ、	■ 効果が高い
+>		市内農業者の農業所得に関する諸業務の負担軽減や経営改善につながった。	□ 効果が高いとは言えない
		「世界人立は其後しのなん性」で人がしたい、四十について、ラギュニュロナファー	ロ 刈木が向いては言んない
54	その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

理由, 改善, 見直しの方向
具体的な内容と効果

(その他の目直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
令和2年度	各団体と協議の上, 令和3年度の補助金額を10%削減した。

### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	農業所得調査等団体がない地域の農業者間との公平性という点で課題がある。
解決に向	けた取組	令和3年度予算において補助金額を10%削減したところであるが、これまで支援してきた経緯から各団体が検討するための期間を考慮しつつ、公平性・公益性等の観点から、今後の補助金のあり方や内容について各団体との協議を進める。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	見直し	令和元年度包括外部監査の結果を踏まえ、公平性・公益性の観点から、今後の補助金のあり方について検討を進めていく。
外部評価		_
2次評価	見直し	公平性・公益性の観点から、交付相手方も含めて、今後の補助金の在り方について検討すること。

## 1補助金の概要

	- 1111-73												
予算事業名新規就農確保・育成対策費       (事業コード)       062106         所管部署       農政部       農政課       経営支援係       電話番号       内線 8-3713         交付先(団体、個人等)       農業研修生         (対象) 誰,何に対して       賃貸住宅に居住している農業研修生         (意図) どういう状態にしたい       農業研修生の生活の負担を軽減することで、研修に集中できる環境を整備する。         対象事業等の内容       農業研修生が賃貸住宅を賃借した場合、家賃に対し補助金を交付する。         積算方法       補助対象経費の50%以内で、月2万5千円を限度とする。         ① 農業研修生数       単位:人②新規就農者数         単位:経営	補助 金名称	農業研修生住宅費助成事業補助金											
所管 部署       農政部       農政課       経営支援係       電話番号       内線 8-3713         交付先(団体,個人等)       農業研修生         交付目的       (対象) 誰,何に対して (意図) どういう状態にしたい       農業研修生の生活の負担を軽減することで,研修に集中できる環境を整備する。         対象事業等の内容       農業研修生が賃貸住宅を賃借した場合,家賃に対し補助金を交付する。         積算方法       補助対象経費の50%以内で,月2万5千円を限度とする。         1 農業研修生数       単位:経営	補助金の性格	個人への事業費補助					始期	H27		終期	_		
交付先(団体,個人等) 農業研修生	予 算 事 業 名	新規就農確保・育成対策	f規就農確保·育成対策費					ード)		0621	06		
交付目的	所 管 部 署	農政 部		農政 課 経営支持				5援 係 電話番号 内線 8-3713					
変付目的	交付先(団体,個人等)												
(意図) どういう状態にしたい 農業研修生の生活の負担を軽減することで、研修に集中できる環境を整備する。 対象事業等の内容 農業研修生が賃貸住宅を賃借した場合、家賃に対し補助金を交付する。 積算方法 補助対象経費の50%以内で、月2万5千円を限度とする。 ① 農業研修生数 単位:経営			賃貸住宅	に居住してい	る農業研修	<b>§生</b>							
積算方法 補助対象経費の50%以内で, 月2万5千円を限度とする。  ① 農業研修生数 単位:人 ② 新規就農者数 単位:経営	X 10 G 10												
① 農業研修生数	対象事業等の内容	農業研修生が賃貸住	宅を賃借した	≿場合,家賃	に対し補助	金を交付すん	<b>3</b> .						
+#BKE124	積算方法	   補助対象経費の50% 	以内で, 月2	万5千円を限	度とする。								
事業量指標と過去5年間   H28   H29   H30   R01   R02   H28   H29   H30   R01   R02		① 農業研修生数			単位:人	② 新規就	農者数				単位:経営体		
		H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H3	30	R01	R02		
の実績 2 3 2 2 5 1 1 3 4	の美額	2 3	2	2	5	1		1	3		4 0		
① 農業研修生数		① 農業研修生数			単位:人	② 新規就	農者数	•			単位:経営体		
成果指標と過去5年間の H28 H29 H30 R01 R02 H28 H29 H30 R01 R02		H28 H29	H30	R01			H29	H3	30	R01	R02		
実績 2 3 2 2 5 1 1 3 4	<b>美</b> 頼	2 3	2	2	5	1		1	3		4 0		

24	2収支状況等								
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)		
		前年度繰越							
補	収	市補助金	270	42	242	564	300		
切切	入	協議会負担							
補助対象事	内								
事	訳								
業等		その他	270	44	242	624	320		
の	収入	合計	540	86	484	1,188	620		
収	市補	輔助率(%)	50.0%	48.8%	50.0%	47.5%	48.4%		
支状	支出	d合計	540	86	484	564	300		
沢沢		うち食糧費、交際費							
	次年度繰越			0	0	0	0		
	一般	设財源	270	42	242	564	300		
	特定	財源							
市台	人	人工   人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
負担額	1牛	金額	721	728	737	737	747		
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員							
	_	)他事務費							
	合計		991	770	979	1,301	1,047		
受?	益対	象者数	1	1	1	2	1		
補具	助金島	単位コスト(単位:円)	991,000	770,000	979,000	650,500	1,047,000		
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい.	ている ◆ 支出目的	」, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない		
			◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている					
団体の運営, 適格性 会計処理等		団体の運営,	◆ 会計処理が適正である。		り,事業内容等と補助目的。	との整合性がとれている			
		会計処理等		剰余金)が補助額から判断			and the sile and t		
						的な支援を行うこととしてお 内容と補助目的との整合性			
				· 亚成20年度7.205千四	亚世纪在南7000千四	<b>入和二左连7000</b> 4円	<b>人和6左座7,000</b> 左		

	項目		➡ 評価					
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する					
	/ 4 \ -\	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外						
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する					
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない					
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する					
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定						
		◇ 上記以外	□ 合致しない					
_		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する					
<del>&gt;≭</del>	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内						
册	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内						
補助金交付基準と		◆ 上記以外	■ 合致しない					
交		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)					
付			口 有(4年以上)					
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満					
準	(4)目古1 知問	◆ 終期未設定で,補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな					
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)					
の			□ 同一団体補助だが、見直し設定し					
迎合			ていない					
適合性			□ 奨励目的補助だが,終期を設定し					
1-			ていない					
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する					
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない					
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する					
	(6)支出を証する書類の添付	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)					
		◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する					
	日次マグルロ	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)						
		◇ 上記以外	□ 合致しない					
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)					
24	<b>公益性</b>	減少が続く農業者の減少に歯止めをかける必要があり,研修期間中の家賃補助を行うことで, 経済的な不安を軽減し,安心して研修を行うことができる。	■ 公益性が高い					
		経済的な个女を軽減し、女心して研修を打りことができる。						
			□ 公益性が高いとは言えない					
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)					
3必要性		農業研修生は、仕事を辞めて研修に専念しており、安心して研修を継続してもらうには、経済的な負担を軽減する必要がある。	┃■ 必要性が高い					
		な具性で軽減する必要が <b>め</b> る。	  □ 必要性が高いとは言えない					
			(左の内容を踏まえての評価)					
4 ±1 EB		家賃の半額を補助することにより、令和2年度は、市外から転入し、賃貸住宅に居住する研修	■ 効果が高い					
4兌	力果	生2名の経済的な負担を軽減することができ、研修に集中してもらうことができた。						
			□ 効果が高いとは言えない					
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。						
5₹	の他	補助率については,本補助金が給与所得がなく不安定な農業研修生の生活の負担を軽減することで,研修に集中できる環境を整備することを目的としていることから,50%以内としている。						

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
補助金名称(当時)	農業研修生住宅費助成事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	他の新規就農者施策を含めて効果的な実施方法について検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	他の新規就農者施策と組み合わせて実施することで研修開始から就農、経営発展につながる一貫した支援となっている。

(その他の見直し)

(での他の先世し)	日 <i>は わ</i> た中 京 L 効 田
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

-		<u> </u>	4	
	評	価	結果	理由, 改善・見直しの方向
	1次評	価	継続	新規就農者を確保していくためには、就農相談から、研修期間、就農当初の不安定な経営を支える支援、経営発展までを一貫して 支援していく必要がある。
	外部評	価		_
	2次評	価	継続	効果的な新規就農者支援となるよう検証を行いつつ、事業を継続すること。

## 1補助金の概要

補 助 金 名 称	新規就農者農地等賃借料助成補助金								
補助金の性格	個人への事業費補助					始期	H15	終期	_
予 算 事 業 名	新規就農確保•育成対	新規就農確保·育成対策費				(事業コ	ード)	0621	06
所 管 部 署	農政 部	女部 農政課 経営				支援 係	電話番号	内線	8-3713
交付先(団体,個人等)	新規就農者								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	農地及び機械施設を賃借した就農5年以内の新規就農者							
נים פו נין ב	(意図) どういう状態にしたい	経営開始のための初期投資による負担を軽減し、新規就農者の農家経営を安定させる。							
対象事業等の内容	新規就農者が農地, 株	幾械,施設等	を賃借した	場合,当該貸	責借料に対し	ノ補助金を	·交付する。		
積算方法	   補助対象経費の30% 	以内で, 年間	間20万円を阻	良度とする。					
	① 新規就農者数			単位:経営体	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	1 1	3	4	0					
	① 新規就農者数			単位:経営体	2			<u> </u>	単位:
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	1 1	3	4	0					

_		八沉守					単位∶十円
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		前年度繰越					
補助対	収	市補助金	660	658	552	397	535
助対	入	協議会負担					
象	内						
**************************************	訳						
業等		その他	1,777	1,570	1,524	1,158	1,249
守の	収入	.合計	2,437	2,228	2,076	1,555	1,784
収	市補	助率(%)	27.1%	29.5%	26.6%	25.5%	30.0%
支状	支出	合計	2,437	2,228	2,076	1,555	1,784
<b></b> 況		うち食糧費,交際費					
	次年	度繰越					
	一般	財源	660	658	552	397	535
	特定	財源					
市	L	一一 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
負担額	1午	正職員金額	721	728	737	737	747
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員					
	その	他事務費					
	合計	-	1,381	1,386	1,289	1,134	1,282
受	监対	象者数	6	5	5	4	4
補具	力金耳	単位コスト(単位:円)	230,167	277,200	257,800	283,500	320,500
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい.	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
			◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている			
\-t- !	h lii	団体の運営,	◆ 会計処理が適正である	る ◆ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
適	各性	会計処理等		剰余金)が補助額から判断			
						的な支援を行うこととして	
			及い機械設備の初期投資  る。	の貝担で軽減することは、	忉朔の柱呂女正に フなか	り, 事業内容と補助目的と	の金百性が凶られてい
			<u>  * *</u> ※人件費(正職員分)は	平成29年度7 205千円	平成30年度7 282千円	   令和元年度7369千円	今和2年度7366 <del>千</del>

U   -			
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
-	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1) 对涿莊貝	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
_		◇ 団体 1/2以内	■ 合致する
<del>&gt;±</del>	(3)補助率の参考	◆ 個人 1/3以内	
佣品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
一次		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	<del></del>	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の			 □ 同一団体補助だが,見直し設定し
適合性			ていない
			- ┃ □ 奨励目的補助だが,終期を設定し
性			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(c) ±uu≠≡∓±₹	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
٠,	\ <del>}                                   </del>	減少が続く農業者の減少に歯止めをかける必要があり、経営開始時の初期投資を補助すること	■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	は、地域の基幹産業を支える、新たな担い手の育成・定着につながる。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 1	必要性	農外からの新規就農は、初期投資の負担が重く、初期の経営を圧迫するため、経営の安定化の	■ 必要性が高い
3 y	<b>沙女</b> 江	ためには負担の軽減が必要。	
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	新規就農には、農地の確保や施設整備が必須であり、多くの新規就農者が農地等について賃	■ 効果が高い
		借している状況であり,令和2年度は4組の新規就農者が利用し,負担の軽減が図られた。	  □ 効果が高いとは言えない
			ロ 刈木り、同り、こは古んなり、
E 3	- O 44		
54	一の他	経営開始初期の新規就農者の不安定な経営を支援することを目的とし、農地等の賃借料の一部	補助しており,期間を経営開始後5年
		間としている。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
補助金名称(当時)	新規就農者農場等リース事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	他の新規就農者施策を含めて効果的な実施方法について検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	他の新規就農者施策と組み合わせて実施することで研修開始から就農、経営発展につながる一貫した支援となっている。

(その他の見直し)

(での他の先世し)	日 <i>は わ</i> た中 京 L 効 田
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	新規就農者を確保していくためには、就農相談から、研修期間、就農当初の不安定な経営を支える支援、経営発展までを一貫して 支援していく必要がある。
外部評価	_	
2次評価	見直し	他の新規就農者施策を含めて、効果的な支援となるよう実施方法を見直すこと。

## 1補助金の概要

補 助 金 名 称	新規就農者営農開始支援補助金								
補助金の性格	国人への事業費補助					始期	H25	終期	-
予 算 事 業 名	新規就農確保・育成対策費					(事業コー	-ド)	062	106
所 管 部 署	農政 部 農政 課 経営				経営す	を援 係 電	話番号	内線	8-3714
交付先(団体,個人等)	新規就農者								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して								
עום פויס	(意図) どういう状態にしたい								
対象事業等の内容	羽容 新規就農者が機械、施設等を購入した場合、当該事業費に対し補助金を交付する。								
積算方法	補助対象経費の30%	以内で, 5年	間累計で30	00万円を限点	度とする。				
	① 新規就農者数			単位:経営体	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	1 1	3	4	0					
h = 11.1= 1 1	① 新規就農者数			単位:経営体	2		•	•	
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	1 1	3	4	0					

<u> </u>	2収支状况等							
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
		前年度繰越						
補	収	市補助金	456	1,512	4,451	1,743	4,155	
助対	以		1,080	3,585	10,485	6,116	9,695	
象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他						
すの	収入	合計	1,536	5,097	14,936	7,859	13,850	
	市補	財率(%)	29.7%	29.7%	29.8%	22.2%	30.0%	
収支状	支出	l合計	1,536	5,097	4,451	7,859	13,850	
沿況		うち食糧費、交際費						
	次年	度繰越	0	0	0	0	0	
	一般	<b>以財源</b>	456	1,512	4,451	1,743	4,155	
	特定	對源						
市	人	一大四 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
負担額	作	正職員金額	721	728	737	737	747	
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費							
	슴計	-	1,177	2,240	5,188	2,480	4,902	
受:	益対	象者数	2	2	4	4	4	
補具	功金島	単位コスト(単位:円)	588,500	1,120,000	1,297,000	620,000	1,225,500	
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規定	に抵触しない	
		六世争块	◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている				
\- <del></del>	団体の運営, 適格性 会計処理等		◆ 会計処理が適正である	る ◆ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている		
適			◇ 決算における繰越金(					
						りな支援を行うこととしてお ドと補助目的との整合性が		
			※↓#弗/正隣昌△)/+			^	^	

	■別項目に対する計 項目	テニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	→ 評価
	7,1	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	/	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担		
		<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	■ 合致する
1  +±	(3)補助率の参考	◆ 個人 1/3以内	
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)目志! 期間	◆ 終期未設定で,補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
ے	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の適			□ 同一団体補助だが、見直し設定し
心			ていない
合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
-			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外 (この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	□ 合致しない (左の内容を踏まえての評価)
		この補助金の公益性で、具体的に記入する/   減少が続く農業者の減少に歯止めをかける必要があり,経営開始時の初期投資を補助するこ	(左の内谷を踏まれての計画) ■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	ぬうが続く展末省の減少に困止のとが行る必要があり、経営開始時の初期反員を補助することは、地域の基幹産業を支える、新たな担い手の育成・定着につながる。	■公無注が高い
			 □ 公益性が高いとは言えない
		  (この補助金が必要である理由を,具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
٠ :	у <del>ш.М.</del>	農外からの新規就農は、初期投資の負担が重く、初期の経営を圧迫するため、経営の安定化	■ 必要性が高い
34	必要性	のためには負担の軽減が必要。	
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4兹	力果	│ 新規就農には、トラクターやビニールハウスなど機械設備の整備が必須であり、令和2年度は   480の新規就農者が利用	■ 効果が高い
		4組の新規就農者が利用し、負担の軽減が図られた。	 □ 効果が高いとは言えない
		  「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について,記載し説明すること。	T WAY IN CIRCLE
54	その他	経営開始初期の新規就農者の不安定な経営を支援することを目的とし、機械・設備等の購入費	の一部を補助してなり 期間を終党問
			. ○ 一 叩を悟りしてのり、 別间を軽呂囲

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

(1)政計1111/	
補助金名称(当時)	新規就農者営農開始支援補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	他の新規就農者施策を含めて効果的な実施方法について検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	他の新規就農者施策と組み合わせて実施することで研修開始から就農、経営発展につながる一貫した支援となっている。

(その他の目直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

# 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	新規就農者を確保していくためには,就農相談から,研修期間,就農当初の不安定な経営を支える支援,経営発展までを一貫して 支援していく必要がある。
外部評価		
2次評価	見直し	他の新規就農者施策を含めて、効果的な支援となるよう実施方法を見直すこと。

## 1補助金の概要

補 助 金 名 称	農業研修施設整備推過	農業研修施設整備推進事業補助金								
補助金の性格	団体・個人への事業費補助					始期	H27	終期	-	
予 算 事 業 名	新規就農確保•育成対	新規就農確保·育成対策費					ード)	0621	06	
所 管 部 署	農政 部		農政 課		経営3	支援 係 『	電話番号	内線	8-3713	
交付先(団体,個人等)	農業研修生の就農予ス	€地に研修用	施設を設置	する市内農	協や任意団	体等				
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	農業研修生の就農予定地に研修用施設を設置する市内農協や任意団体等								
713 G H 3	(意図) どういう状態にしたい	当該研修用 することによ						体等)から	引き続き賃借	
対象事業等の内容	<ul><li>・農業研修用施設及び付随設備等の購入及び設置</li><li>・農業研修用施設等を設置する農地の賃借</li><li>・農業研修用施設等を設置する農地の改良、造成等</li></ul>									
積算方法	対象経費の30%以内	対象経費の30%以内								
	① 農業研修生数			単位:人	② 新規就	農者数			単位:経営体	
事業量指標と過去5年間 の実績	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
の夫棋	2 3	2	2	5	1		1	3	4 0	
* T	① 農業研修生数			単位:人	② 新規就	農者数	_		単位∶経営体	
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
実績	2 3	2	2	5	1		1 3	3	4 0	

24	2収支状況等									
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
		前年度繰越								
補	収	市補助金	398	168			3,000			
助动	入	協議会負担								
象	内									
事	訳									
補助対象事業等		その他	933	398			7,000			
の	収入	、合計	1,331	566			10,000			
収	市補	助率(%)	29.9%	29.7%			30.0%			
支状	支出	台計	1,331	566			10,000			
況		うち食糧費,交際費								
	次年	度繰越	0	0						
	一般財源 39		398	168			3,000			
	特定	對源								
市	人	正職員 人工	0.1	0.1			0.1			
負担額	件	金額	721	728			747			
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員								
	その他事務費									
	合計	ŀ	1,112	896			3,747			
受	益対	象者数	1	1			2			
補耳	助金草	単位コスト(単位:円)	1,112,000	896,000			1,873,500			
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	ウ, 支出範囲が法令の規定	≧に抵触しない			
		八世争攻	◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている						
\ <del></del>	ᄔᄼ	団体の運営,	◆ 会計処理が適正である。	る ◆ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている				
週	格性	会計処理等		剰余金)が補助額から判断						
			本事業は、新規就農者の育成・確保のため、受け入れから経営発展まで段階的な支援を行うこととしており、農業研修生の就農予定地に研修用施設を整備し、引き続き就農時に設置者から賃借することで、新規就農者の初期投資の負担を軽減することができ、事業内容と補助目的との整合性が図られている。							

	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)計争奴弗	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
4		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
拙	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)見直し期間 (終期設定)	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
کے			い(対象外)
の海			□ 同一団体補助だが、見直し設定し
迎			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
'-			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	<b>公益性</b>	当該補助金を活用して整備された施設は、研修終了後、新規就農者へリースされことになり、 経営開始時の初期投資の負担を軽減することができる。地域の基幹産業を支える、新たな担い	■ 公益性が高い
		性呂所知時の初朔及員の負担を程減することが、こる。地域の率軒産来を支える。利には担い 手の育成・定着につながる。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		農外からの新規就農は、初期投資の負担が重く、初期の経営を圧迫するため、経営の安定化のためには負担の軽減が必要。	┃■ 必要性が高い
		のためたは見足の柱派が必安。	□ 必要性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
4効果		当該補助金を活用し、施設整備がされた場合、研修終了後に新規就農者へリースされる際に、	■ 効果が高い
		初期の負担を軽減することができ、結果として新規就農者の初期の経営安定につながる。	
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	の他		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

(1) 政計   四 /	
補助金名称(当時)	新規就農者農場等リース事業補助金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
継続	他の新規就農者施策を含めて効果的な実施方法について検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	他の新規就農者施策と組み合わせて実施することで研修開始から就農、経営発展につながる一貫した支援となっている。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		新規就農者を確保していくためには、就農相談から、研修期間、就農当初の不安定な経営を支える支援、経営発展までを一貫して 支援していく必要がある。
外部評価		
2次評価	継続	効果的な新規就農者支援となるよう検証を行いつつ、事業を継続すること。

## 1補助金の概要

補 助 金 名 称	新規就農者の飛躍を後押しする補助金								
補助金の性格	個人への事業費補助	個人への事業費補助					H28	終期	_
予 算 事 業 名	新規就農確保•育成対	新規就農確保•育成対策費					ード)	0621	06
所 管 部 署	農政 部		農政 課		経営支	変援 係 「	電話番号	内線	3-3713
交付先(団体,個人等)	新規就農者	f.規就農者							
交付目的	(対象) 誰, 何に対して								
נים בו נין ב	(意図) どういう状態にしたい								
対象事業等の内容	・経営規模拡大のための投資 ・新分野導入 ・販路拡大								
積算方法	対象経費の50%以内で	5, 上限額2,0	00千円(6~	・10年目の	累計)				
	① 新規就農者数			単位:経営体	② 面積当	たりの個丿	人農業所得額	類について	単位:円/ha
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	1 1	3	4	0	158,693	167,85	148,7	160,18	2 171,615
* # 12	① 新規就農者数			単位:経営体	② 面積当	たりの個ノ	人農業所得額	類について	単位:円
成果指標と過去5年間の まま	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	1 1	3	4	0	158,693	167,85	148,7	160,18	2 171,615

	***	八八守					单位:十円									
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)									
		前年度繰越														
補助対象事業	収	市補助金	3,611	86	303	1,822	2,000									
	入	自己負担	8,914	87	304	1,823	2,000									
	内															
	訳															
業等		その他														
の	収入	合計	12,525	173	607	3,645	4,000									
収	市補	助率(%)	28.8%	49.7%	49.9%	50.0%	50.0%									
支状	支出	合計	12,525	173	607	3,645	4,000									
沢況		うち食糧費,交際費														
	次年	度繰越														
	一般	:財源	3,611	86	303	1,822	2,000									
	特定	!財源														
市	人	正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1									
負担額	1午	金額	721	728	737	737	747									
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員														
	その	他事務費														
	合計	-	4,332	814	1,040	2,559	2,747									
受:	益対	象者数	1	1	1	1	2									
補	助金耳	単位コスト(単位:円)	4,332,000	814,000	1,040,000	2,559,000	1,373,500									
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい.	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない									
	八四事項		◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている												
`本-	₩ ₩	団体の運営,	◆ 会計処理が適正である	る ◆ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている										
迥′	恪性	会計処理等		剰余金)が補助額から判断												
			本事業は、新規就農者の 達した新規就農者に対し、			的な支援を行うこととしてな										
			ている。	心以 サい正 畑 C 又 1及りの	ここの文のの性白元成につ	"6%",尹未门廿€間切日	はってか 正日 はか、何られ									
			· ※人件費(正職員分)は	平成29年度7.205千円	l. 平成30年度7.282千円	. 令和元年度7.369千円										

با ت			
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	/1\≒+色奴弗	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	 □ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
伸吐	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
即		•	■ 合致しない
補助金交付基準と			□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
基			□ 継続4年未満
準			■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
غ	(4)見直し期間	137711111111111111111111111111111111111	い(対象外)
の	(終期設定)	<u> </u>	□ 同一団体補助だが、見直し設定し
適合性			ていない
合			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
性			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	·	□ 合致しない
	(54111111111111111111111111111111111111	•	<ul><li>■ 合致する</li></ul>
	(6)支出を証する 書類の添付	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
			□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
			□ 合致しない
		•	(左の内容を踏まえての評価)
2/	· 公益性		■ 公益性が高い
2.1	X 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	援することは、地域の基幹産業を支える、担い手の育成・定着につながる。	
			□ 公益性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	新規就農者は,経営基盤が脆弱であり,経営発展していくためには負担の軽減が必要。	■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
			■ 効果が高い
4交	力果	年度は1名に対し、規模拡大に必要な機械の導入について補助した。	
		また,本事業の対象者を,新規就農者のなかでも,一定の水準以上の売上げを上げ,将来,指 導農家となることを見込まれる者としており,意欲ある新規就農者の経営発展を支援できてい	
		等展系とはることを元匹よれる日としてのか、忠耿める利戍机辰日の社呂元成と又抜てさてい る。	□ 効果が高いとは言えない
		~。 「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について,記載し説明すること。	
53	一の他	補助率については、経営基盤が脆弱な新規就農者が経営発展に必要な設備投資等を行うことを	
Ì		事業効果については、本事業の対象者を、新規就農者のなかでも、一定の水準以上の売上げを上まれる者は、てなり、音効なる新規就農業の経営登展を表現するため	にけ、将来、指導農家となることを見込
		まれる者としており、意欲ある新規就農者の経営発展を支援するため。	

### 4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題解決に向けた取組

<u> </u>	Щ	
評価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価		新規就農者を確保していくためには、就農相談から、研修期間、就農当初の不安定な経営を支える支援、経営発展までを一貫して 支援していく必要がある。
外部評価		
2次評価	継続	効果的な新規就農者支援となるよう検証を行いつつ,事業を継続すること。

### 1補助金の概要

補助金名称	農業者団体等研修支援事業補助金(旧:農業担い手団体活動支援事業補助金)								
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	H26	終期	_
予 算 事 業 名	担い手確保・育成バッ	担い手確保・育成バックアップ対策費				(事業コー	·ド)	0621	15
所 管 部 署	農政 部		農政 課		経営3	支援 係 電	話番号	内線	8-3714
交付先(団体,個人等)	農業青年団体								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して		業者団体等 「認められる			要綱に基づく	,地域社会	及び本市	の農業振興
עם פו עו אַ	(意図) どういう状態にしたい	将来の本	市農業を担	う経営者とし	<b>しての</b> 資質を	向上させる	0		
対象事業等の内容	対象事業等の内容 団体が実施する農業経営の改善や農村生活の発展を目的とした研修,及び結婚対策に対して補助金を交る。						金を交付す		
積算方法	補助対象経費の50%	6以内で, 1団	]体あたり年	間8万円を	限度とする。				
	① 研修会実施回数			単位:回	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	3 1	2	1	0					
h = 11.1= 1 . = 1	① 参加人数	-		単位:人	2	·		•	単位:
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	38 8	38	24	0					

2収支状況等 単位·千円

24	2収支状況等									
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
		前年度繰越								
補	収	市補助金	77	160	3		160			
切め	入	協議会負担	184	550	4		160			
象	内									
事	訳									
助対象事業等		その他								
の	収入	、合計	261	710	7		320			
収		助率(%)	29.5%	22.5%	42.9%		50.0%			
支状		l合計 -	261	710	7		320			
況		うち食糧費、交際費								
		度繰越								
	一般財源		77	160	3		160			
	特定財源									
市台	人	  正職員   人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
負担額	件費	金額	721	728	737	737	747			
額		臨時・嘱託/会計年度任用職員								
	その他事務費									
	合計		798	888	740	737	907			
		象者数 	1	2	1	0	2			
補」	功金单	単位コスト(単位:円)	798,000	444,000	740,000		453,500			
		共通事項		例,規則,要綱等に基づし	いている ◆ 支出目的	内, 支出範囲が法令の規?	定に抵触しない			
			◆ 交付申請等が定めた							
滴:	格性	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ		句, 事業内容等と補助目的	りとの整合性がとれている				
	111111	会計処理等		(剰余金)が補助額から判						
			安計処理~総会におい	て、監査報告が行われて	いる。					
	※人件費(正職員分)は 平成29年度7205千円 平成30年度7282千円 令和元年度7369千円 令和2年度7366千									

	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	□ 合致する
	/ / \ _	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◆ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	■ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		<ul><li>↓ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
-	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金交付		<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
交		◆ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付		The many of Classical Control of the	
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 解続4年未満
基準と	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	」□ 帰続・十八個 □ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(終期設定)		い(対象外)
の適合性	(小さ <i>河</i> ) D.X. X.C. /		□ 同一団体補助だが、見直し設定
			していない
			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
1	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	していない ■ 合致する
	(支出根拠)	<ul><li>▼ と自然性は固定が、医療基準に自動、その他が支なが足は関係</li><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	┃ ■ 「以りる」 (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◆ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		<ul> <li>→ 上記以外</li> </ul>	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	· 公益性	将来の農業担い手である若手農業者の、経営者としての資質向上に繋がる機会創出に寄	■ 公益性が高い
21	X IIII   I	与している。	
		/このはい合が立西でも 7 四中ナ - 目はめに記 3 ナ 7 \	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から研修会の実施はなかったが、平成	(左の内容を踏まえての評価)
		28年~令和元年の参加人数は108名(年平均27名)であり、若手農業者にとって必要とされ	■ 必要性が高い
3 1	必要性 と	ている。	
0 %	<b>7女</b> 江	また、令和3年度より、農村女性活動支援事業補助金を統合したことから、農村女性にとっ	
		ても必要とされる。なお、農村女性活動支援事業補助金の実績は、令和2年度は新型コロナ	
		ウイルス感染症拡大の影響から研修会の実施はなかったが、平成28年~令和元年の参加人数は263名(年平均66名)である。	□ 必要性が高いとは言えない
		数は203石(千十均00石) Cめる。 (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から研修会の実施はなかったが、平成	■ 効果が高い
		28年~令和元年の研修会参加人数は108名(年平均27名)である。また、補助額について	
4%	力果	は, 平成28年度は70千円(協議会負担270千円, 市補助率26.0%), 平成29年度~令和元	
		年度は上記「2収支状況等」のとおりであり、 外部講師による研修を通じて、営農以外の分野な党による。	┃□ 効果が高いとは言えない
		野を学ぶことにより,若手農業者が各々の農業経営を改善するきっかけとなっている。	
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	の他	対象経費は、当該補助金の交付目的を達成するために、団体が実施する研修にかかる費用	J. 研修開催のために必要な調査にか
		かる費用については,補助の対象としている(ともに原則対象外の経費を除く)。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補 助 金 名 称(当 時) (1)行政評価の結果	農業青年団体活動支援補助金/農村女性団体活動支援補助金  理由, 改善, 見直しの方向
継続	壁田, 以書, 元直Cの方向   <sub>一</sub>
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(ての他の兄担し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
令和3年度	農村女性活動支援事業補助金と統合し実施

# 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組 課題

解決に向けた取組

	Щ	
評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	外部講師による研修を通じて,農業技術以外の経営や流通等の分野を学ぶことにより,将来の本市農業の担い手である若手農業者が各々の農業経営を改善するきっかけとなっており,また,経営者としての資質向上にもつながるものであることから, 今後も継続していく必要がある。
外部評価		
2次評価	継続	

## 1補助金の概要

補 助 金 名 称	農業ヘルパー確保支援	事業補助金	•						
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R1	終期	_
予 算 事 業 名	担い手確保・育成バック	アップ対策	費			(事業コー	-ド)	06211	5
所 管 部 署	農政 部		農政 課		経営3	を援 係 電	話番号	内線 8-	-3713
交付先(団体,個人等)	旭川市内の農業協同組	l合							
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	旭川市内の	農業協同組	l合					
X IV G IV	(意図) どういう状態にしたい	態にしたいと業分野における人手不足が解消された状態							
対象事業等の内容	旭川市内の農業協同組合が農業ヘルパーの確保のために行う、宣伝・広告に要する経費、募集フェア等への出展に要する経費の一部を補助							の出展に	
積算方法	補助対象経費の1/2以	内							
	① 農業ヘルパー雇用	数		単位:人	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績			25	27					
	① 農業生産額			単位:百万円	② 派遣農	家数			単位:経営体
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績			13,607	13,942				21	20

	- Park				
	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
前年度繰越					
市補助金			81	206	300
協議会負担					
自己資金			99	233	300
その他				85	
合計			180	524	600
助率(%)			45.0%	39.3%	50.0%
合計			180	524	600
うち食糧費、交際費			0	0	0
度繰越			0	0	0
:財源			81	206	300
財源			0	0	0
<sub>- 一階 号</sub> 人工			0.1	0.1	0.1
金額 金額			737	737	747
臨時·嘱託/会計年度任用職員					
他事務費					
			818	943	1,047
象者数			2	3	4
単位コスト(単位:円)			409,000	314,333	261,750
+ 没事话	◆ 支出根拠が法令,条例	列,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている			
団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	句, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
会計処理等	◇ 決算における繰越金(	(剰余金)が補助額から判断	新し, 妥当である		
	会計処理については,会	計管理責任者のもと交付	要綱に基づき適正に処理さ	れている。過年度繰越金に	はない。
	※ ↓ 佐婁(正曄昌公)け	- 亚成20年度7.205千年	1 亚成30年度7,202千四	□ 全和元年度7,260年四	今和2年度7,266年
	市補助金 協議会負担 自己資金 その他 合計 助率(%) 合計 うち食糧費,交際費 財源 財源 正職員 人工 金額 臨時・嘱託/会計年度任用職員 他事務費 教者 コスト(単位:円) 対 共 通 事 項 団会計処理等	市補助金 協議会負担 自己資金  その他 合計 助率(%) 合計 うち食糧費,交際費 度繰越 財源 財源 工職員 人工 金額  臨時・嘱託/会計年度任用職員 他事務費  を者数 位コスト(単位:円)  共通事項  → 支出根拠が法令,条件 → 交付申請等が定めた 会計処理等 会計処理等 会計処理については、会	市補助金 協議会負担 自己資金  その他 合計 助率(%) 合計 うち食糧費,交際費 度繰越 財源 財源 ・ 正職員 ・ 本額	市補助金 81 協議会負担 99 99 99	市補助金 81 206 協議会負担 99 233  その他 85 合計 180 524 助率(%) 45.0% 39.3% 合計 180 524  方ち食糧費 交際費 0 0 0  度繰越 0 0 財源 81 206 財源 0 0 財源 81 206 財源 0 0 0  財源 0 0 0  財源 81 206 財源 0 1 0  工職員

	項目	, ,,,,,,	チェック項目等		→ 評価
	次ロ				<u> </u>
			軍営費は交際費,慶弔費,飲食費,懇親会費等を対象外	-	ロ女子の
	(1)対象経費		連合員は文际員, 慶中員, 以長員, 恋私会員寺とれ家介   例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	$\vdash$	 概ね合致する
			食糧費等,原則対象外経費を補助対象		
			適正な負担を設定	_	<u> </u>
	(2)受益者負担		受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	-	ロ双する
	(2) 又無省 只是		上記以外	П	 合致しない
_			団体 1/2以内		合致する
1	(3)補助率の参考	-	個人 1/3以内	=	
補	基準		個人等に対する利子補給 5%以内		
補助金交付基準と		•	上記以外	П	 合致しない
金衣			同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)		有(4年未満)
人		*	The many of the state of the st	ı	有(4年以上)
基		$\Diamond$	奨励目的の補助、終期を設定	ı	継続4年未満
準			終期未設定で,補助継続4年以上	ł	同一団体、奨励目的補助ではな
٤	(4)見直し期間	ľ		_	い(対象外)
の	(終期設定)			П	同一団体補助だが、見直し設定し
適					ていない
適合性				╻	奨励目的補助だが、終期を設定し
生					ていない
	(5)交付規程	<b>♦</b>	交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅		合致する
	(支出根拠)	$\Diamond$	上記以外		合致しない
		•	実績報告時,支出証拠書類提出有		合致する
	(6)支出を証する		額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施		(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付		実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		概ね合致する
		•	書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)		
		•	上記以外	_	合致しない
			の補助金の公益性を, 具体的に記入する)		の内容を踏まえての評価)
24	·益性	旭.	川市内にある4つの農業協同組合すべてを補助対象としており,ほかに代わるものがない。		公益性が高い
	·				
				=	公益性が高いとは言えない
			D補助金が必要である理由を、具体的に記入する)		の内容を踏まえての評価)
3业	必要性		業協同組合が無料職業紹介所となり農業ヘルパーの募集を行うための経費に補助してお 当該事業において収益性はないため、補助による負担軽減の必要がある。		必要性が高い
		), <u>=</u>	当政事末に650・C状態性はないため、開助にある負担程機の必要がある。	П	必要性が高いとは言えない
		(=0	D補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する)	左	の内容を踏まえての評価)
// 六	加果		業協同組合が無償で行う農業ヘルパー募集の事業に50%の補助を行うことで、恒常的に不		効果が高い
4 X	才	足し	ている農業ヘルパーを令和2年度は27人確保することができた。		
		L + + -	<b>なったまましのさんは、マクなしもい、四十にっこっ こうましごのようこ</b> し		効果が高いとは言えない
	- tu	補助	助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。		
53	の他				

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

農繁忙期における労働力不足の解消を一定程度図ることができた一方で、農家のニーズに対応できる人材を十分に確保できていない。また、希望する雇用期間・条件や農業経験の有無から起こるミスマッチが生じている。 「雇用労働力の現状についてのアンケート」結果及び令和3年度実施予定のアンケート後の個別ヒアリングをもとに検証を行い、事業を再構築する。 解決に向けた取組

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	旭川市内の農業協同組合が農業ヘルパーの確保のために無償で行う宣伝・広告に要する経費の補助であり,不足する労働力確保のために今後も継続していく必要がある。
外部評価		_
2次評価	継続	目標を明確にした上で、必要な農業労働力を確保できるよう事業内容の検証をしていくこと。

## 1補助金の概要

「市均並び城女										
補 助 金 名 称	新しい生活	様式に対応	した農業労働	動環境整備	事業補助金					
補助金の性格	団体・個人/	体・個人への事業費補助						R2	終期	R2
予 算 事 業 名	担い手確保	手確保・育成バックアップ対策費						コード)	062	115
所 管 部 署		農政 部		農政 課		経営3	支援 係	電話番号	内線	8-3713
交付先(団体,個人等)	旭川市内で 用の見込み		所を有する	農業者及び	生産組織で	あって,農業	経営には	おいて労働者	を雇用して	いる方又は雇
	(対象) 誰, 何に対し	して	農業者又は	生産組織						
交付目的	(意図) どういう状態	気にしたい	コロナウイル	レス感染を予	ら防したい。	合わせて農業	業現場に		環境向上に	5労働者の新型 より労働者の い。
対象事業等の内容	労働者を雇	用する農家	が, 圃場等(	こ仮設トイレ	, 手洗い場,	休憩施設,	換気•空	調設備等を記	<b>设置する際</b>	の費用を補助
積算方法 補助率1/2以内 上限額100万円										
	① 補助件	-			単位:件	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の天限					31					
	① 整備施	設数			単位:件	② 整備金	額	<b>I</b>		単位∶千円
成果指標と過去5年間の 宝徳	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績					49					31,205

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
	前年度繰越								
収	, 市補助金				14,430				
八人									
収入内訳	自己資金				16,775				
訳									
	その他								
) 収,	入合計				31,205				
市	補助率(%)				46.2%				
支!	出合計				31,205				
<u> </u>	うち食糧費、交際費								
	年度繰越				0				
	般財源								
	定 <u>財源</u>				14,430				
引人	. 正職員				0.2				
人件費 目標	-   金額				1,473				
	7,7,10								
	の他事務費								
合					15,903				
	才象者数 ————————————————————————————————————				31				
助金	単位コスト(単位:円)				513,000				
共通事項		◆ 支出根拠が法令, 条例, 規則, 要綱等に基づいている ◆ 支出目的, 支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている							
16.	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	内, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている				
格性	Ė │ 会計処理等	◆ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判認	断し, 妥当である					

	項目		→ 評価
	것니	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
		<ul><li>▼ 事業員は調査, 別談, 忍机公共と対象が</li><li>◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外</li></ul>	
	(1)対象経費	<ul><li>◇ 個外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象</li></ul>	 □ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◆	
	\-/ <b>X</b>	<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	□ 合致する
1 補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
佣品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◆ 上記以外	■ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(終期設定)		い(対象外)
の適	(#< <b>/</b> 0]		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	┃■ 合致する (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	***
	書類の添付	<ul><li>◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。</li><li>◇ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)</li></ul>	│□ 概ね合致する │
		◇ 音類は添り済たが、美地調査は木美施(たたし、不要な自合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ エ記以外 (この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	□ 言致しない (左の内容を踏まえての評価)
		本市の基幹産業である農業現場において,新しい生活様式に対応した労働環境の整備により労	【生の内谷を踏まれての計画) ■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	働者の新型コロナウイルス感染予防を図るための事業であり、公益性が高い。	■ 公無任が同じ
			  □ 公益性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
O 1	/ <b>無</b> 从	新型コロナウイルス感染症予防に配慮した新しい生活様式に対応する農業設備設置への支援	■ 必要性が高い
<b>3</b> 兆	必要性	が求められており、必要性が高かった、	
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	31件の農業者及び生産組織に対し、設置費用の50%上限額100万円を補助したことにより、新	■ 効果が高い
		しい生活様式に対応する農業設備が49施設設置され、農業労働者の労働環境が向上し、新型コロナウイルス感染を予防することができた。	 □ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
52	一の他	1(3)	
J-7	, V) IE	新型コロナウイルス感染症対策として緊急に労働者を雇用する農業者を支援するため、また、全	額, 国の臨時交付金の対象経費として
		実施したものであるため。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

	しっかがわ	に向けた取組
厂(/)至于元日	<b>アケ(1) W# : **</b>	ロ   丁 / ~ HV 公口

課 題 解決に向けた取組

<u> 0 至 1 年 1 1 計 1 </u>		
評価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価		
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり、終了する。

## 1補助金の概要

補助金名称	農業経営改善資金利子	<b>-</b> 補給金							
補助金の性格	個人等への利子補給補	亅				始期	S47	終期	-
予 算 事 業 名	農業経営強化資金融資	<b>予業費</b>				(事業コー	-ド)	062303	3
所 管 部 署	農政 部		農政 課		経営す	支援 係 電	話番号	内線 8-	3714
交付先(団体,個人等)	市内農業協同組合								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	旭川市内の	農業者・生産	産組織					
713 CH 3	(意図) どういう状態にしたい						や農業用機械 安定と地域農		
旭川市農業農村振興条例に基づく当該資金を融通するため、融資機関(市内農協)が農業者等に対し定められた利率でた場合、当該資金に利子補給措置を講じることで、農業者に低利融資を実施する。 ■資金の概要 【貸付利率】 1.0% 【償還期間】 7年~15年(資金の種類別) 【利子補給率】0.85% 【利子補給期間】4年~10年(資金の種類別) 【資金の種類】農地等取得、施設・農機具、家畜の購入、経営の維持など目的・用途に応じ6種類 【資金の原資】農協						で貸し付け			
積算方法	利子補給計算期間によ (0.85%)を乗じた金額る			し, 旭川市島	農業農村振興	<b>興条例施行</b>	規則で定めら	れた利子補	給率
	① 融資枠			単位:千円	② 新規融	資件数			単位:件
事業量指標と過去5年間 の実績	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の美棋	640,000 640,000	640,000	640,000	624,000	148	137	139	138	122
プロドー いりょうたの へ	① 融資実績			単位:千円	2	_			単位:
成果指標と過去5年間の 実績	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
入假	512,682 497,360	536,196	601,282	506,630					

							単位∶十円
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		前年度繰越					
補	収	市補助金	24,927	24,375	24,787	25,178	26,654
切が	入入	協議会負担					
象	内						
事	訳						
補助対象事業等		その他	28,449	27,820	28,290	28,736	30,421
の	収入	.合計	53,376	52,195	53,077	53,914	57,075
収	市補	助率(%)	46.7%	46.7%	46.7%	46.7%	46.7%
支状	支出	合計	53,376	52,195	53,077	53,914	57,075
況		うち食糧費,交際費					
	次年	度繰越					
	一般財源 24,92		24,927	24,375	24,787	25,178	26,654
	特定	財源					
市	人	正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
負担額	件	金額	721	728	737	737	747
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員					
	その	他事務費					
	合計		25,648	25,103	25,524	25,915	27,401
受:	益対	象者数	963	938	936	895	895
補助	助金草	単位コスト(単位:円)	26,633	26,762	27,269	28,955	30,616
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	M, 規則, 要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	り,支出範囲が法令の規定	に抵触しない
		六世争块	◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている			
ار م <del>ار</del> د	L# J.:L	団体の運営,	◆ 会計処理が適正である	る ◆ 設立目的	), 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
週位	格性	会計処理等	◇ 決算における繰越金(				
			本事業は,農業経営の改	<b>善に必要な資金を低利で</b> 履	は資し,農業経営の安定とは	也域農業の振興を図るもの	である。
			<u>│</u> ※人件費(正職員分)は	亚成20年度7 205千四	亚战20年度7,202千四	今和元年度7,260年四	会和2年度7,266年

	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◇ 団体 1/2以内	■ 合致する
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
册	基準	◆ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
助金交付基準と	(4)見直し期間	◆ 終期未設定で,補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(終期設定)		い(対象外)
の海			□ 同一団体補助だが、見直し設定し
迎合			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
-			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外       (=0.45% A 0.0 *********************************	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) この補助金は, 農業経営改善資金の利子を補給するものであり, 農業経営改善資金は, 経営	(左の内容を踏まえての評価)
21	<b>公益性</b>	この補助並は、長未祥呂以普員並の利丁を補給するものであり、長未祥呂以普員並は、程呂    感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体の育成と農業経営基盤の強化を図る目的の資	■ 公益性が高い
		金で、農地取得、家畜購入、施設の改良・取得、土地改良、農機具の取得・修理、経営維持等、	
		営農に幅広く使える資金であることから,公益性は高い。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3业	少要性	過年度分については債務負担行為済であるため廃止できず,過去5年間において受益対象者	■ 必要性が高い
		数が同程度で推移しているため,今後も農業者が農業経営改善資金を利用する見込みがあることから,必要性は高い。	   □ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		R2年度においては、農業者122名の農地取得、新規就農・農地等取得、施設取得、農機具購	■ 効果が高い
4%	<b>加果</b>	入,土地改良,経営維持資金借入等に対し,負担軽減が図られたことから,効果は高い。	■ 別未が同じ
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	の他		

### 4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

<u> </u>	
補助金名称(当時)	農業経営改善資金利子補給金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	補助額を見直すこと
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	金利を段階的に引き下げてきた
(スの州の日古口)	

(その他の見直し 見直しの年度 |具体的な内容と効果

### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

解決に向けた取組

評価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価		農業者にとって財政負担が小さく、営農に幅広く使える資金制度であり、また、農業経営の安定につながるものであることから、今後も継続していく必要がある。
外部評価		_
2次評価	継続	_

## 1補助金の概要

一冊列並び版文										
補助金名称	農業経営自	農業経営自立支援資金利子補給金								
補助金の性格	個人等への	固人等への利子補給補助					始期	H23	終期	R2
予 算 事 業 名	農業経営強	化資金融資	事業費				(事業コー	ード)	0623	03
所 管 部 署		農政 部		農政 課		経営3	支援 係 『	電話番号	内線	3-3714
交付先(団体,個人等)	市内農業協	3同組合								
ᄎᄼᆣᄆᅅ	(対象) 誰,何に対	して						, 農業経営( しが可能な <u></u>		難となってい
交付目的	(意図) どういう状態			<b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b>				, 当該負債題 直しを図り, 料		
対象事業等の内容	該経営の立 ている既往 自立資金 子補給を行 ■自立資 【貸付利	直しを効果 資金の借換 の融資は、 うとともに、 金の概要	的に進める を実施して 平成23年度 経営の立直 ら以内 【償	ため, 「農業 償還負担の 1年間で終 <sup>-</sup>	経営自立式 軽減を図る 了しており, 経営対策を 15年(据	を援資金」(J 。 平成23年度 実施している	以下「自立 から平成3 る。 ※利= 【貸付限	子補給は令利	)により、糸 最務負担行だ D2年度で約 D0万円/名	経営を圧迫し 為に基づき利
積算方法				実施要綱( 乗じた金額を			。)に基づき	4, 利子補給	計算期間に	おける融資
+ * E	① 支援者	数(資金利用	用者数)		単位:経営体	2	_	_	_	単位:
事業量指標と過去5年間の実績	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の夫棋	22	21	18	16	13					
	1 支援者のうち	経営の立直しが図ら	れた者(翌年の収支が	「黒字に転換した者)	単位∶経営体	2	•			単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	22	21	18	16	13					

			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		前年度繰越					
補	収	市補助金	1,096	839	656	468	
切切	入	協議会負担					
象	内						
事	訳						
補助対象事業等		その他	2,194	1,681	1,314	936	
の	収入	.合計	3,290	2,520	1,970	1,404	
収	市補	助率(%)	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	
支状	支出	合計					
況		うち食糧費、交際費					
	次年	度繰越					
	一般	:財源	1,096	839	656	468	
	特定財源						
市負担額	人	正職員	0.1	0.1	0.1	1.1	
担担	件費	金額	721	728	737	8,103	
額							
	その他事務費						
	合計		1,817	1,567	1,393	8,571	
		象者数	21	18	16	13	
補」	助金单	単位コスト(単位:円)	86,524	87,056	87,063	659,308	
		共通事項		例,規則,要綱等に基づし 	<b>いている</b> ◆ 支出目的	内, 支出範囲が法令の規?	定に抵触しない
			◆ 交付申請等が定めた				
海	格性	団体の運営	◆ 会計処理が適正であ		句, 事業内容等と補助目的	りとの整合性がとれている	
<u> </u>	10 17	会計処理等	◇ 決算における繰越金		**		
			本争表は, 対家負債農	<b>多の栓呂以善と体負強化</b>	を図ることを目的とした事	<b>耒</b> じめる。	
			※人件費(正職員分)は	t, 平成29年度7,205千P	9. 平成30年度7.282千F	円 令和元年度7,369千	円 令和2年度7.366千

	項目	チェック項目等 <b></b>		→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外		合致する
1 補	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外		
	(1) 对象社員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象		概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象		合致しない
		◆ 適正な負担を設定		合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定		
		◇ 上記以外		合致しない
		◇ 団体 1/2以内		合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内		
田力	基準	◆ 個人等に対する利子補給 5%以内		
金		◇ 上記以外		合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)		有(4年未満)
付				有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定		継続4年未満
補助金交付基準と	(4)見直し期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	•	同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外)
の適	(終期設定)			同一団体補助だが、見直し設定していない
適合性				奨励目的補助だが、終期を設定
II				していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅		合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外		合致しない
		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有		合致する
	(c) + U+=+7	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施		(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する 書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		概ね合致する
	日がひがい	◇ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)		
		◇ 上記以外		合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)		(の内容を踏まえての評価)
21	<b>公益性</b>	この補助金は、農業経営自立支援資金の利子を補給するものであり、農業経営自立支援資金は、経営改善と体質強化を図るため、農協による強い指導を伴った経営対策を実施するとともに、当該経営の立直しを効果的に進めるため、経営を圧迫している既往資金の借換を実施して償還負担の軽減を図る		公益性が高い
		資金であることから、公益性は高い。		公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左	(の内容を踏まえての評価)
3必要性		新規貸付は平成23年度で終了しているが、過年度分については債務負担行為済であるため廃止できないことから、必要性は高い。		必要性が高い
				必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左	の内容を踏まえての評価)
4交	人	R2年度において、13件の借入に対し、負担軽減が図られたことから、効果は高い。		効果が高い
				効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。		
57	の他			

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	農業経営自立支援資金利子補給金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

## 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

題 解決に向けた取組

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		当該事業の融資は、平成23年度1年間で終了しており、平成23年度から平成32年度まで債務負担行為に基づき利子補給を行うとともに、経営の立直しに向けた経営対策を実施した。令和2年度をもって利子補給期間が終了した。
外部評価		
2次評価	終了	

#### 1補助金の概要

「間別並の例女										
補 助 金 名 称	農業後継者	農業後継者ステップアップ支援資金利子補給金								
補助金の性格	個人等への	利子補給補	助				始期	H16	終期	R6
予 算 事 業 名	農業経営強	農業経営強化資金融資事業費						ド)	062303	3
所 管 部 署		農政 部		農政 課		経営す	接係 電	話番号	内線 8-	3714
交付先(団体,個人等)	市内農業協	同組合								
交付目的	(対象) 誰,何に対し			養継者で経 と継者が組織		ることが確う	実な個人, 農	業法人に参	≒画する個人	, または2
עם פו עו אַ	(意図) どういう状態	£1−1 <i>†</i> −1 \				いのある農				
対象事業等の内容	農業後継者が若者らしい新たな発想やチャレンジ精神を反映して、農業技術の取得、新規経営部門の開始や開生産力アップに取り組むための農業機械・施設の導入を目的とした本資金に利子補給を行うことにより、無利子精置を講じる。本資金の融資は、平成28年度で終了し、現在は平成36年度まで債務負担行為に基づき利子補給を行っている。【貸付利率】 無利子 【償還期間】 10年以内(据置期間:3年以内)【利子補給率】1.35% 【利子補給期間】10年以内【貸付限度額】5,000千円/名 【資金の原資】 農協【農協の利子負担割合】1.2%						利子融資			
積算方法	農業後継者ステップアップ支援事業実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき,利子補給計算期間における融資平均残高に利子補給率(1.35%)を乗じた金額を利子補給している。									
	① 本資金	利用者数(累	(計)		単位:人	② 貸付残	高(期末時)			単位:千円
事業量指標と過去5年間 の実績	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の夫棋	27	23	18	16	11	38,020	27,612	19,149	12,436	7,132
	① 本資金利	用者のうち後	継者として就	農している者	単位:人	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	27	23	18	16	11					

2収支状況等

24.	2収支状況等									
				平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)		
		前年度縟	越							
補助対象事業等	収	市補助金	È	667	474	322	203	123		
対即	入入	協議会負	担							
象	内									
事	訳									
美生		その他		463	329	224	141	85		
の	収入	合計		1,130	803	546	344	208		
収支状	市補	助率(%)	)	59.0%	59.0%	59.0%	59.0%	59.1%		
文状	支出	l合計		1,867	1,867	1,867	1,867	1,867		
況		うち食糧費	貴, 交際費							
	次年	度繰越								
	一般財源			667	474	322	203	123		
	特定財源									
市台	人	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
負担額	147	工机员	金額	721	728	737	737	747		
額	費	臨時・嘱託/会計年度任用職員								
	_	他事務費								
	合計			1,388	1,202	1,059	940	870		
-		象者数		23	18	16	11	10		
補具	助金耳	単位コスト(	単位:円)	60,348	66,778	66,188	85,455	87,000		
		共通	事項	◆ 支出根拠が法令,条件	例,規則,要綱等に基づい	かている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	とに抵触しない		
				◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている					
油	恪性		の運営,	◆ 会計処理が適正であ		ウ, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている			
迎生	口工	会計	-処理等		(剰余金)が補助額から判					
				本事業は、本市農業を料	将来とも担う農業後継者の	資質向上とその確保を図	るための事業である。			
				ツ.し	- 正世00年度2005年	」 亚成20年度7,202千年	. A 52 = 5 = 200 = F			

عار ت			
	項目	チェック項目等	→ 評価
-		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)共免奴弗	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
佣品	基準	◆ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
公平		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)見直し期間 (終期設定)	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	い(対象外)
の			□ 同一団体補助だが, 見直し設定
適			していない
適合性			□ 奨励目的補助だが,終期を設定
性			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	<ul><li>■ 合致する</li></ul>
	/ - \ - <del>   -   -   -   -   -   -   -   - </del>	◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		この補助金は、農業後継者ステップアップ支援資金の利子を補給するものであり、農業後継者ステップ	■ 公益性が高い
21		アップ支援資金は、意欲と能力のある担い手の育成に資することを目的に、後継者の新しい発想やチャレンジは大きによった。	
		ンジ精神を反映した経営の多角化や経営改善を図るための取組を支援する資金であることから, 公益性が高い。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を,具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		新規貸付は平成28年度で終了しているが,過年度分については債務負担行為済であるため	
3业	必要性	新成員内は十成20千度で終了しているが、過年度がについては貨務員担行為別でめるだめ	■ 必要性が高い
		EL CC & CC & S, E & E & E & E	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4 六	h ⊞	R2年度において、11件の借入に対し、負担軽減が図られたことから、効果は高い。	■ 効果が高い
4%	力果		
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	の他		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	農業後継者ステップアップ支援資金利子補給金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

## 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

題 課 解決に向けた取組

6个体的部体

<u>6全体的評价</u>	<u>th</u>							
評価	理由、改善・見直しの方向							
1次評価	見直し	本資金の融資は,平成28年度で終了し,現在は令和6年度まで債務負担行為に基づき利子補給を行っている。						
外部評価	_							
2次評価	継続							

## 1補助金の概要

補助金名称	旭川産農産	B川産農産物PR支援事業負担金									
補助金の性格	団体への事	団体への事業費補助					始期	H3	80	終期	_
予 算 事 業 名	農産物等流	通拡大支援	費				(事業:	コード)		061	105
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		5	園芸 係	電話番	号	内線	8-3719
交付先(団体,個人等)	旭川市営農	改善推進協	議会								
交付目的	(対象) 誰,何に対	対象) 推川産農産物の認知度向上、需要拡大を図る団体									
X 13 G 113	(意図) どういう状態	意図) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・									
対象事業等の内容	安全・安心にこだわりをもつバイヤーや消費者が増えている中, 旭川産農産物の国内外での認知度向上や需要拡 を図るため首都圏で行われる物産展等の開催を支援する。							上や需要拡大			
積算方法	事業に要	する経費の <sup>-</sup>	1/2以内								
	① 物産展	• 商談会開催	<b>崖数</b>		単位:回	2					単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	ŀ	H30	R01	R02
の実績			2	3	0						
h = 11.1= = 1	① 農業生	産額			単位:億円	2		•		•	単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	ŀ	<del>1</del> 30	R01	R02
実績			124	136	139						

		= 15 2 1	_ 15 / 1 / 1 / 1		A = 1 1 11 1 1 1 1	単位∶十円
		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	F度繰越		0	0	0	0
補 収 市補	輔助金		195	159	58	50
が 入協議	議会負担					
象 内 事業	<b>美者負担</b>		196	160	59	50
事 訳						
助対象事業等	)他					
の収入合計	†		391	319	117	100
<b>収</b> 市補助率	卒(%)		49.9%	49.8%	49.6%	50.0%
支出合計	†		391	319	117	100
ス 元 うち1	食糧費,交際費		0	0	0	0
次年度網	<b>操越</b>		0	0	0	0
一般財源	原		391	319	58	50
特定財源	京		0	0	0	0
市人工工作	☆昌 人工		0.1	0.1	0.1	0.1
6 件	金額		728	737	737	747
質 費 臨時・鳴	属託/会計年度任用職員		0	0	0	0
その他事	<b>事務費</b>		0	0	0	0
合計			1,119	1,056	795	797
受益対象者	数		14	14	14	14
甫助金単位=	コスト(単位:円)		79,929	75,429	56,786	56,929
	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条件	例,規則,要綱等に基づい <sup>.</sup>	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
	八世事英	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている			
÷++	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	), 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
適格性	会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判と	fし,妥当である		
		※人件费(正職員公)け		亚成30年度7,282千四	△和元任度7,360千四	今和2年度7,266年

Ο <u>μ</u>			
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◆ 事業費は調査,研修,懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金	基準 (4)見直し期間 (数期設定)	◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◆ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	■ 継続4年未満
準	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
との	(終期設定)		い(対象外)
海	(作) 77] 以及()		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
適合			ていない
性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	<ul><li>▼ 大門就程は固定方, 医水墨平に自動, その他必要な就是は桐龍</li><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
	(文田保)之/	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
		<ul><li>▼ 説の能定時, 実地調査等(資金施報(で文出能)と言葉が本, 報簿等の能能/と実施</li><li>◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。</li></ul>	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	口 1以13日以9 3
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を,具体的に記入する)	<u>」 日致じない</u> (左の内容を踏まえての評価)
		農産物の付加価値向上や流通拡大を図ることを目的としているため, 旭川産農産物の道内外	■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	等販路開拓及び認知度向上に取り組む農業者を支援することにより、本市農業者の農業経営の	■ 公無任為相び
		安定化及び農業者の所得向上に寄与するため、公益性が高い。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		までいる。 農産物の付加価値向上や流通拡大を図ることを目的とし、旭川産農産物の道内外等販路開拓	
31	必要性	等に取り組む農業者を支援するための国、その他の補助金は補助要件等が厳しく、本市農業者	■ 必安に炒高い
		の経営規模,事業内容等に対応することが難しいため,地域の実情に合った市独自の支援策が	
		必要である。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		旭川市営農改善推進協議会が実施する農産物のPR展示(令和元年実績1件)及び首都圏イ	■ 効果が高い
		ベント等への出店(令和元年実績2件)に対し、事業に要した経費の1/2以内を補助することは、旭川産農産物の国内外での認知度向上や需要拡大を図るために効果的である。	ローが田が立いしは云これい
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	ᄬᇋᇛᆡᄱᅪᇸᄈᄴᄬᅔᆠᆠᄧᆞᅠᅶᆣᄈ
5₹	一の他	農産物の付加価値向上や流通拡大を図ることを目的として、旭川産農産物の道内外等販路開拓等者の農業経営の安定化及び農業者の所得向上のため、地域の実情に合った市独自の支援策。	
		果有の農業経営の女だ化及の農業者の所得向工のだめ、地域の美術に占った印掘日の文援家で 期の設定はなじまない。	こして大心してるため、本語の立に於

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(1) 攻計៕</u> /	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
/->     <del>                                 </del>	
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

市場ニーズの把握及びPR方法について検討し,道内外の販路開拓等に取り組む農業者の所得の向上を図っていく必要がある。 解決に向けた取組物産展等への出展などを通して認知度向上を図り、より多くの流通に繋げるための支援を進めていく。

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	旭川農産物の国内外での認知度向上には継続したPRが必要であることから、支援を継続する。
外部評価	_	_
2次評価	見直し	新型コロナウイルス感染症の状況を見据えて、事業の在り方を検討すること。

## 1補助金の概要

補 助 金 名 称	地域振興支	援品提供事	業負担金							
補助金の性格	団体への事	業費補助					始期	R2	終期	R2
予 算 事 業 名	地域振興支	援品提供事	業費				(事業コ-	ード)	061	76
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		農	音産 係 電	電話番号	内線	8-3742
交付先(団体,個人等)	旭川市営農	改善推進協	議会							
交付目的	(対象) 誰,何に対し	<i>-</i> (	なって、経営目的とした紙	営∙生産対策 組織。	に取り組み	, 計画的かつ	つ総合的な		強力な推議	進を図ることを
נים בו נין ב	(意図) どういう状態	\$1-1 +-1 \		大きな影響						者や売り上げ 元農畜産物
地元商店会が自由に活用できる旭川産の農畜産物や加工品等を支援品として提供 対象事業等の内容 及び地元農畜産物等の消費拡大を図ることを目的として旭川市営農改善推進協議会 補助金を交付する。										
積算方法	支援品@3	3,000円 ×	4JA × 1	1,000個 =	12,000,000	円				
	① 提供支持	援品総額			単位∶千円	② 提供支	援品数量			単位:個
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績					9,710					4,614
	① 地域イ/	ベントに参加	した店舗数			② 地域イ	ベントの集	客数(概数)		単位:人
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績					650					69,794

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	前年度繰越				0	
相助対象事業等 収入内訳	市補助金				9,710	
引入	協議会負担				0	
内						
訳						
<b>長</b> 至	その他					
) 収入	合計				9,710	
で 支に	甫助率(%)				100.0%	
支比	出合計				9,710	
ì	うち食糧費、交際費				0	
次年	<b>丰度繰越</b>				0	
	一般財源				0	
	定財源 				9,710	
人员	正職員  人工				0.1	
人件費	金額				737	
	臨時·嘱託/会計年度任用職員				0	
	の他事務費				0	
合言					10,447	
	象者数				650	
助金	単位コスト(単位:円)				16,072	
	共通事項			ている ◆ 支出目的	的,支出範囲が法令の規定	に抵触しない
	,	◆ 交付申請等が定めた				
<b>適格性</b>	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	内, 事業内容等と補助目的	」との整合性がとれている	
可以工	会計処理等	◆ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判断	断し, 妥当である		
		<u>-</u> ※人件費(正職員分)は	t. 平成29年度7.205千円	]. 平成30年度7.282千円	月, 令和元年度7,369千円	. 令和2年度7.366千

	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1) 对条社員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
4		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
油	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◆ 上記以外	■ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
補助金交付基準と	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(終期設定)		い(対象外)
の適	(小学为) 及足)		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
合			ていない
適合性			│□ 奨励目的補助だが,終期を設定し │ ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する 書類の添付	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	<ul><li>■ 合致する</li></ul>
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
		◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
2/	· 公益性	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地元商店会を支援し、同時に地元農畜産物等の消	■ 公益性が高い
27	<b>公</b> 金注	費拡大を図ろうとするものであるから、公益性は高い。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛や休業要請等により来街者や売り上げ	■ 必要性が高い
,-		の減少など大きな影響を受けている地域商店街への支援が求められており, 必要性が高かった。	□ 必要性が高いとは言えない
		た。 (この補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		(この補助金にようことのような効果があうたのがを、美積寺に基づさ具体的に記入する) 9商店会の地域イベントを支援し、集客等に一定の効果が認められた、経済活動回復の下支え	【左の内谷を踏まれての評価) ■ 効果が高い
		に寄与した。	■ 刈未が向い
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
57	の他	1(2), (3)	
		新型コロナウイルス感染症対策として緊急に地元商店会を支援するため、また、全額、国の臨時のであるため。	時交付金の対象経費として実施したも ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		のであるため。	
4 ম	成28年度行政評	価への対応状況等	

(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
L	
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題解決に向けた取組

<u>り王1年1月計1</u>								
評価	結果	理由,改善・見直しの方向						
1次評価	終了							
外部評価	_	_						
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり、終了する。						

## 1補助金の概要

一一一										
補 助 金 名 称	旭川産新米PF	R支援事業	補助金							
補助金の性格	団体への事業	養補助					始期	R2	終期	R2
予 算 事 業 名	旭川産新米PI	R支援事業	<b></b> 大費				(事業コー	(ド)	06117	7
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		農番	音産 係 電	話番号	内線 8-	-3742
交付先(団体,個人等)	市内4JA	5内4JA								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して									
מום מו	(意図) どういう状態に	(意図) 新型コロナウイルス感染症の影響により、米の需要減少が懸念さえることから、地元産米の消 どういう状態にしたい 費拡大を促進する。								
対象事業等の内容	JAが取扱店舗等で新米販売開始前に前売引換券(JAごとに3, 000枚を上限)を販売し、引換期間内にPB米と引き換えた前売引換券1枚につき、1, 000円補助する。									
積算方法	市民が新米5kg(2,000円相当)を半額程度で購入できる前売引換券の金額設定及び各JAの取扱店舗等での販売能力が3,000枚 ・補助金(1,000円割引分補助) @1,000円×3,000袋(5kg)×4JA=12,000,000円									
	<ol> <li>4JA独自フ</li> </ol>	ブランド米(	(5kg)販売数		単位∶袋	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績					12,000					
	① 4JA独自フ		(5kg)販売額		単位:円	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績					25,732,000					

۷,	XX1	大况等					単位∶十円
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		前年度繰越					
補品	収	市補助金				11,987	
対別	入	協議会負担					
象	内						
事	訳						
補助対象事業等		その他					
の	収入	、合計				11,987	
収工	市補	助率(%)				100.0%	
収支状況	支出	l合計					
況		うち食糧費、交際費					
	次年	度繰越					
		財源					
	特定財源					11,987	
市台	人	正職員  人工				0.1	
· 負担額	件費	金額				737	
額		臨時・嘱託/会計年度任用職員					
		他事務費					
_	合計					12,724	
		象者数 				2,400	
補	助金	単位コスト(単位:円)				5,302	
共通		共通事項		例, 規則, 要綱等に基づい 	ている ◇ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
			◆ 交付申請等が定めた				
油	杦州	団体の運営,	◇ 会計処理が適正であ		内, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
適格性		会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判断	断し, 妥当である		
			※ 人	上 平成29年度7.205千円	1 亚世20年度7,000年日	I 今和元年度7,260千円	会和0年由7,000年

	項目	チェック項目等		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	グロ	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外		<u> </u>
	(1)対象経費	<ul><li>→ 事来員は調査, が10, 恋祝云寺と対象が</li><li>◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外</li></ul>	-	日以りる
1 1		<ul><li>✓ 建占負は又除負, 後や負, め及負, 必然会負 すどれるか</li><li>◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象</li></ul>	$\overline{}$	 概ね合致する
		<ul><li>◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象</li></ul>		合致しない
		◇ 適正な負担を設定		合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	_	13,70
	(2) 又無行 只是	◆ 上記以外		合致しない
				合致する
	(3)補助率の参考	◆ 個人 1/3以内	_	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内		
補助金交付基準		◆ 上記以外		合致しない
立		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)		有(4年未満)
付				有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定		継続4年未満
準と	(4)見直し期間 (終期設定)	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上		同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外)
の				同一団体補助だが、見直し設定していない
適合性				奨励目的補助だが、終期を設定していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	T	合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外		合致しない
	., ., ., ., ., .,	◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有		合致する
	/a\+u+=++	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施		(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		概ね合致する
	音短の派刊	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)		
		◇ 上記以外		合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	〔左	の内容を踏まえての評価)
21	<b>公益性</b>	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、需要が減少している米の消費拡大を促進することは、地元産米の認知度向上や本市経済の回復につなげようとするものであることから、公益性		公益性が高い
		が高い。		公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左	の内容を踏まえての評価)
3必要性		新型コロナウイルス感染症の感染拡大による米の需要の減少などが懸念されており,消費拡 大への支援が求められており必要性が高かった。		必要性が高い
				必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する)	〔左	の内容を踏まえての評価)
4亥	加果	4JAに前売引換券1枚につき、1、000円補助を行ったことで前売引換券12、000枚が完売した。旭川産新米(独自ブランド)の認知度及び売上げ向上につなげることができたことから効果は		効果が高い
		高い。		効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。		
5 <i>₹</i>	の他	1(2), (3) 新型コロナウイルス感染症対策として地元産米の消費拡大を促進するため、また、全額、国の路 ものであるため。	語:	交付金の対象経費として実施した

### 4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題解決に向けた取組

<u> 6至体的評価</u>	Щ	
評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価		-
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり、終了する。

## 1補助金の概要

補助金名称	省力水稲ハ	ウス導入支	援事業補助	金						
補助金の性格	団体への事	業費補助					始期	H29	終期	R2
予 算 事 業 名	省力水稲ハ	ウス導入支	援費				(事業コ-	ード)	0623	341
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		農番	音産 係 1	電話番号	内線	8-3742
交付先(団体,個人等)	省力設備を備えた水稲育苗ハウスを設置しようとする者が所属するJA									
交付目的	(対象) 誰, 何に対し	して	規模拡大を	進める担い	手農家					
ניו בו ניו	(意図) どういう状態		生産者の高 農業の持続			に営農技術	が生産意	欲を発揮でき	きる環境を	整備し、水稲
対象事業等の内容								することで水 持続的発展に		積の維持を図
積算方法			水稲育苗ビ 内(1棟当たり			用で, 基盤整	至備費用,日	缓房∙給排水	設備費用	は除く。事業に
	① 新設しか	と省力水稲ノ	ヽウスの棟数	攵	単位:棟	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績		17	19	8	6					
	① 水稲作	付面積			単位:ha	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	6,390	6,290	6,250	6,093	6,055					

	~~~	人,沉守	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)			
		<b>光左连续</b>	十八23十尺(大异)	十八30十尺(大异)	<b>卫和儿</b> 牛皮(灰异/	₽和2千及⟨灰异/	サ州3十尺(ア昇/		
補助対象事業等		前年度繰越							
	収	市補助金	6,636	5,345	3,243	2,098			
対	入	協議会負担							
象	内   訳	事業者負担	8,788	13,017	3,825	3,765			
事	兀								
<b>耒</b> 笙		その他							
の	収入	合計	15,424	18,362	7,068	5,863			
収	市補	前率(%)	43.0%	29.1%	45.9%	35.8%			
収支状	支出	l合計	15,424	18,362	7,068	5,863			
1人況		うち食糧費,交際費							
	次年	度繰越							
	一般		6,636	5,345	3,243	2,098			
	特定	財源							
車	7	一大 人工	0.1	0.1	0.1	0.1			
負担	件	正職員金額	721	728	737	737			
負担額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員							
	その他事務費								
	合計		7,357	6,073	3,980	2,835			
受:	益対	 象者数	11	12	6	5			
補	功金島	単位コスト(単位:円)	668,818	506,083	663,333	567,000			
		T /3 ====	◆ 支出根拠が法令,条例		ている ◆ 支出目的		に抵触しない		
	共通事項		◆ 交付申請等が定めたとおりになっている						
		団体の運営,	◆ 会計処理が適正である		 り. 事業内容等と補助目的。	との整合性がとれている			
適	商格性 会計処理等		◆ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し、妥当である						
		24176-24	V GAST OF STREET	.,,	, 21— 142 4				
				- P L	- P	A	A		
			※人件費(正職員分)は	∴ 平成29年度7.205千円	Ⅰ. 平成30年度7.282千円	. 令和元年度7.369千円	令和2年度7.366千		

#### 3個別項目に対する証価

	型別項日I−別9句計		
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	、一八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	口 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
油	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◆ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			■ 有(4年以上)
金交付基準と		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4) 目志 1 #88	◇ 終期未設定で,補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の	(水) 初		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
旭人			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが,終期を設定し
Ι±			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	日人スマノかいり	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
2/	· 公益性	当該事業の実施により,農業者の労力の軽減等,農業振興に寄与している	■ 公益性が高い
<u>- 1</u>	тт IТ		
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		農業者の高齢化、担い手不足により農地の集積化が進む中、労働力不足といった課題解決を	■ 必要性が高い
		図るためには省力化・効率化を推進し、補助を通じて支援する必要がある。	口 以西州北方、114年 - 4
			□ 必要性が高いとは言えない
. L. I		(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4效		令和2年度は5戸6棟の省力設備を備えた水稲育苗ハウスが設置されたが,農業者の労力軽減 等や農地の流動化(農地の有効活用)につながるなど効果は高い。	■ 効果が高い
		¸¸¸¸¸¸ऴ¸°□¸∨,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
57	の他		
_ (			

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

(1)以計1111/	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

((の他の先担し)	
見直しの年度	
元匠のサース	Z FT F F F F F F F F F F F F F F F F F F

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	
解決に向	けた取組	

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	_	_
2次評価	終了	

#### 1補助金の概要

補助金名称	旭川新そば帰	応援!農業	フェスタ実施	<b>西事業補助</b> 金	<u> </u>					
補助金の性格	団体への事	業費補助					始期	R2	終期	R2
予 算 事 業 名	そば緊急支援事業費				(事業コ	<b>ー</b> ド)	062355			
所 管 部 署		農政 部 農業振興 課 農畜産 係					係 電話番号 内線8-3715			
交付先(団体,個人等)	旭川市営農	改善推進協	議会							
交付目的	(対象) 誰, 何に対し			持続的な発 する協議会		た農業経営の	の確立を図	図ることを目的	りに市内JA	等農業関係
ניום ניו	(意図) どういう状態					いるそばの 機会の提供		の喚起及び物	物産展の中」	上等による販
対象事業等の内容		そばの消費意欲喚起及び物産展の中止などにより販売機会が減少した農業者への販売機会提供等を図るため、そばを中心とした地元農畜産物の消費拡大・PRイベント「旭川新そば応援!農業フェスタ」の実施を支援する。								
事業に要する経費10/10以内 ※対象経費:(1) イベント実施に必要となる経費一式(2) 旭川産そばの消費拡大に関する経費(3) 新型コロナウイ ルス感染症の拡大により、イベント開催の中止が決定された場合、中止の決定日までにイベント準備に要した費用で、 当該イベントのために用意し、かつ、他の用途での使用・販売ができないなど、やむを得ない理由があり、市長が必要 と認めるもの。										
	① 販売PR·	イベント開作	崖数(中止)		単位:回	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の美棋					1					
##\#\\#\\#\\	<u> </u>	三数(中止)			単位:団体					単位:
成果指標と過去5年間の 実績	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
					26					

型收支状况等 								
		<u> </u>	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
т-т-		前年度繰越				0		
補 出	収	市補助金				6,300		
対	入	協議会負担				0		
象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他				0		
の	収入	合計				6,300		
	市補	助率(%)				100.0%		
収支状	支出	l合計				6,300		
1人		うち食糧費、交際費				0		
	次年	度繰越				0		
	一般	財源						
	特定	財源				6,300		
市	人	<sub> 職</sub> 人工				1.0		
貝切	件	正職員金額				7,366		
負担額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費							
	合計	+				13,666		
受	益対	象者数				1		
補助金単位コスト(単位:円)					13,666,000			
# 72 <b>=</b> 75			◆ 支出根拠が法令,条何	列,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	句, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない	
		共通事項	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている				
		団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ	る ◇ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている		
適	恪性	会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判断	新し, 妥当である			
			ツ 1 ル 弗 / <b>エ</b> 映 号 八 ) は	· 平成20年度7.205千円	. 亚世20年由7,000千円	1 人和二左由7000千円	<b>今年6年7000</b> 年	

U	古口		
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	┃■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	<u> </u>
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
4		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
拙	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
田山	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準		◆ 上記以外	■ 合致しない
公		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	<del></del>	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
との適合性	(4)見直し期間		い(対象外)
	(終期設定)		  □ 同一団体補助だが,見直し設定し
			ていない
			- ┃ □ 奨励目的補助だが,終期を設定し
			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	<ul><li>↓ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
	(P 4 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		<ul><li>↓ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		新型コロナウイルス感染症の影響により、著しく需要が減少したそばの消費意欲を喚起するとともに、物	■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	産展等が軒並み中止となり、販売機会が減少した農業者の販売機会を提供するイベントの開催を支援す	
		ることで、本市経済の回復につなげようとするものであることから、公益性が高い。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
ر. د	7	コロナの影響下での催事の開催には、感染防止対策をはじめとしたこれまでに無い経費が生じること	■ 必要性が高い
3 <u>y</u>	必要性	や,販路が縮小し,経営に影響が生じている出展者の経済的な負担を軽減するため,開催費用の支援の	
		必要性が高かった。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	開催週において、旭川市内の新型コロナウイルス感染症の感染が大幅に拡大し、病院等での新たなクラ	□ 効果が高い
. ,,		スターの発生, 新規感染者が最大数を更新するなど, 感染者数減少の見通しが立たない状況であったことから開催を中止することとなり, 目的を達成することができなかった。	■ 効果が育いしけまったい
			■ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	一の他	1(2), (3) 新型コロナウイルス感染症対策として, 著しく需要の下落したそばの消費意欲喚起と販売機会が減少した	-農業者へ販売及びPPの機会を埋仕する
		が望るログライルへ恐来症が尿として、者と、需要の下浴とだってはの消費息、歌噪にと親が滅失が減少とだため、緊急に全額、国の臨時交付金の対象経費として実施したものであるため。	- 灰木白 一級ル及い 100 阪五とルボック

#### 4平成28年度行政評価への対応状況等

(13-2)(11-12-7	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

<u>り至体的評価</u>	Щ	
評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	_	
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり、終了する。

#### 1補助金の概要

										4		
補助金名称	そば種子購	ば種子購入支援事業補助金										
補助金の性格	団体への事	業費補助					始期	R2	終期	R2		
予 算 事 業 名	そば緊急支	そば緊急支援事業費					(事業コー	ード)	06235	5		
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		農畜	豊畜産 係 電話番号 内線8-3715					
交付先(団体,個人等)	あさひかわ	さひかわ農業協同組合, たいせつ農業協同組合, 東旭川農業協同組合, 東神楽農業協同組合										
<b>交付日</b> 的	(対象) 誰, 何に対し	して	市内在住の 種子補助事	農家に対し 業」という。)	, 農家が購 <i>。</i> )を行う事業	入するそば程 実施主体。	重子の購入	費を一部補助	助する事業(	以下「そば		
交付目的										いる状況に		
対象事業等の内容	実施主体	・ 実施主体が旭川市内在住の農家に対して行うそば種子補助事業の一部費用を補助する。										
積算方法	補助対象経費の10/10以内 農業協同組合がそば種子補助事業で農家に支払う金額。 ただし、令和2年4月1日から令和2年10月31日までに購入した令和2年産そば作付に要する種子を対象とし、種子 の使用量を10aあたり10kg を限度として種子購入代金の2分の1を上限とする。									象とし, 種子		
	① 受益農	家件数			単位:件	2				単位:		
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02		
の実績					258							
	① そば収	<b>養量</b>			単位:t	2				<b>単</b> 位:		
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02		
実績					984							

24.	2収支状況等											
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)					
		前年度繰越				0						
補	収	市補助金				10,392						
対即	入	協議会負担				0						
象	内											
事	訳											
補助対象事業等		その他										
の	収入	、合計				10,392						
収工	市補	助率(%)				100.0%						
収支状	支出	l合計				10,392						
況		うち食糧費、交際費				0						
	次年	度繰越				0						
	一般	財源										
	特定	財源				10,392						
市負担額	人	正職員 人工				0.1						
担担	件費	金額				737						
額	賀	臨時・嘱託/会計年度任用職員										
		他事務費										
	合計					11,129						
受:	益対	象者数				258						
補具	助金草	単位コスト(単位:円)				43,136						
		共通事項		列,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない					
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	◆ 交付申請等が定めた									
<b>`</b> 离-	格性	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ		り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている						
迎仁	山口	会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判断	折し, 妥当である							

と (4) 見直し期间 の (終期設定) □ 同一団体補助だが、見直し設 でいない	<ul><li>□ 概ね合致する</li><li>□ 合致しない</li><li>□ 合致しない</li><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li><li>□ 合致しない</li></ul>
(1) 対家経費	<ul><li>□ 合致しない</li><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li></ul>
(2) 受益者負担         (2) 受益者負担         (2) 受益者負担         (2) 受益者負担         (2) 受益者負担         (3) 補助率の参考         (3) 補助率の参考         (3) 補助率の参考         (3) 補助率の参考         (3) 補助率の参考         (3) 補助率の参考         (4) 見直し期間 (4) 見直し期間 (5) 交付規程(大力は、)         (4) 見直し期間 (5) 交付規程 (支出根拠)         (5) 交付規程 (支出根拠)         (5) 交付規程 (支出根拠)         (5) 交付規程(大力に対する)         (5) 支出を証する書類の添付         (5) 支出を証する書類の添付         (5) 支出を証する書類の添付         (5) 支出を証する書類の添付方だが、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施の意図を実施の確認りを実施の意図を実施の確認りまたが、実地調査等で添付に替えている。         (※左欄2項目とも適合)         概ね合致する           (5) 支出を証する書類の添付         (※左欄2項目とも適合)         概ね合致する         概ね合致する	<ul><li>□ 合致しない</li><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li></ul>
(2) 受益者負担	<ul><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li></ul>
(2) 受益者負担	<ul><li>■ 合致しない</li><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li></ul>
● 上記以外         ■ 合致しない           (3)補助率の参考         ● 個人 1/2以内           ● 個人 1/3以内         ● 個人 1/3以内           ● 上記以外         ● 上記以外           ● 上記以外         ● 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)         ■ 有(4年未満) 有(4年以上)           (4)見直し期間(終期設定)         ● 痰期未設定で、補助継続4年以上         □ 同一団体、奨励目的補助ではい(対象外)           (5)交付規程(支出根拠)         ● 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅         ■ 合致する           (5)交付規程(支出根拠)         ◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅         ■ 合致する           (6)支出を証する書類の添付         ◆ 察の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施         ● 会致する(※左欄2項目とも適合)           ● 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)         ■ 概ね合致する	<ul><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li></ul>
1 付	<ul><li>□ 合致する</li><li>■ 合致しない</li></ul>
(3) 補助率の参考	■ 合致しない
## 基準	
準 (4)見直し期間 (終期設定)	
準 (4)見直し期間 (終期設定)	
準 (4)見直し期間 (終期設定)	■ 有(4年未満)
準 (4)見直し期間 (終期設定)	
準 (4)見直し期間 (終期設定)	□ 有(4年以上)
と (4)見直し期間 (終期設定)	□ 継続4年未満
(終期設定)  (終期設定)  (終期設定)  (終期設定)  ((終期設定)  ((本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
□ 同一団体補助だが、見直し設ていない □ 奨励目的補助だが、終期を設ていない □ 奨励目的補助だが、終期を設ていない □ 支出根拠) □ 合致する □ 合致しない □ 合致しない □ 合致しない □ 合致する □ 合致する □ 合致する □ 合致する □ 合致する □ 合致する □ 会致する □ 会対する □ 概ね合致する	い(対象外)
(5)交付規程 (支出根拠)  ◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅  ◇ 上記以外  ◇ 実績報告時,支出証拠書類提出有  ◇ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施  ◆ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)  ■ 概ね合致する  ・ 概ね合致する  ・ 概ね合致する	□ 同一団体補助だが、見直し設定し
(5)交付規程 (支出根拠)  ◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅  ◇ 上記以外  ◇ 実績報告時,支出証拠書類提出有  ◇ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施  ◆ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)  ■ 概ね合致する  ・ 概ね合致する  ・ 概ね合致する	ていない
(5)交付規程 (支出根拠)  ◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅  ◇ 上記以外  ◇ 実績報告時,支出証拠書類提出有  ◇ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施  ◆ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)  ■ 概ね合致する  ・ 概ね合致する  ・ 概ね合致する	□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
(支出根拠) ◇ 上記以外 ○ 実績報告時,支出証拠書類提出有 ○ なの確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施 ○ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ○ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの) ■ 概ね合致する	ていない
◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
(6)支出を証する 書類の添付  ◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの)  ■ 概ね合致する	□ 合致しない
(6)支出を証する <ul> <li>(6)支出を証する</li> <li>書類の添付</li> <li>書類の添付</li> <li>■ 概ね合致する</li> <li>□ 概ね合致する</li> </ul>	
書類の添付	(※左欄2項目とも適合)
→ □ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	■ 概ね合致する
□ 合致しない	
	□ 合致しない
(この補助金の公益性を、具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価)	
本市は国内でも有数のそばの産地であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたそば生 ■ 公益性が高い 2公益性 産者を支援することで、本声経済の回復けまとより、国産そばの生産体制の維持につたがるもの	■ 公益性が高い
2公益性 産者を支援することで、本市経済の回復はもとより、国産そばの生産体制の維持につながるもの であることから、公益性が高い。	
□ 公益性が高いとは言えない	□ 公益性が高いとは言えない
(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価)	左の内容を踏まえての評価)
3必要性 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、そばの需要減退により価格が下落している状況で ■ 必要性が高い	■ 必要性が高い
あり、市内そば生産者の所得が減少し、生産意欲の低下、経営規模の縮小に繋がる懸念があっ たことから、経済負担の軽減に関する支援が求められており、必要性が高かった。 □ 必要性が高いとは言えない	ロー以亜州が京いたけ言うない
4効果	■ 効果が高い
防ぎ、そばの生産基盤の維持に寄与した。 □ 効果が高いとは言えない	□ 効果が高いとは言えない
「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
5その他 1(2), (3)	
新型コロナワイル人感染症対策として緊急にそは生産者の経済負担の軽減について支援するため、また、全額、国の臨時父付金の	め、また、全額、国の臨時交付金の対
象経費として実施したものであるため。	

### 4平成28年度行政評価への対応状況等

<u>(行政評価)</u>

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
L	
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題解決に向けた取組

<u> 0 至 14 的 計1</u>	Ш	
評価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価		_
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり、終了する。

#### 1補助金の概要

補 助 金 名 称	旭川野菜花き生産	旦川野菜花き生産拡大事業助成金								
補助金の性格	団体への事業費補助						H2	終期	_	
予 算 事 業 名	旭川農産物販売力		(事業コー	-ド)	06110	03				
所 管 部 署	農政	農政 部 農業振興 課						内線 8	-3719	
交付先(団体,個人等)	旭川青果物生産出	B川青果物生産出荷協議会								
态从日的	(対象) 誰, 何に対して	旭川市内の	)野菜・花き・	果樹生産						
交付目的 (意図) どういう状態にしたい 生産性及び収益性の向上により、生産振興を関					主産振興を図	<b>4</b> 5				
対象事業等の内容	生産技術の向上及び生産出荷体制の効率化を図るために行う研修及び調査等に要する経費に対する助成。									
積算方法	事業に要する経費の1/5以内									
	① 交付団体数	① 交付団体数 単位:団体 ② 単位							単位:	
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
の実績	1	1 1	1	1						
	① 農業生産額			単位:億円	2				単位:	
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	
実績	131	134 124	136	139						

		「况寺					単位∶十円					
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)					
		前年度繰越										
補	収	市補助金	99	59	150	24	150					
설 別	入	協議会負担	531	680	2,304	360	2,270					
象	内											
事	訳											
助対象事業等		その他										
かの	収入	合計	630	739	2,454	384	2,420					
収	市補	助率(%)	15.7%	8.0%	6.1%	6.3%	6.2%					
支状	支出	合計	630	739	2,454	384	2,420					
況		うち食糧費、交際費										
	次年	度繰越										
	一般	財源	99	59	150	24	150					
	特定	財源										
市	人	正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1					
負担額	件	金額	721	728	737	737	747					
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員										
	その	他事務費										
	合計		820	787	887	761	897					
受益	上対象	象者数	407	389	370	327	330					
補助	金单	単位コスト(単位:円)	2,015	2,023	2,397	2,327	2,718					
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	M, 規則, 要綱等に基づい <sup>.</sup>	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない					
	八 <u>世</u> 事頃		◆ 交付申請等が定めた。	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている								
٠ <del>غد</del> +،	ᆉᄮ	団体の運営,	◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている									
適格性会計		会計処理等	◇ 決算における繰越金(	剰余金)が補助額から判断	折し, 妥当である							
				平成29年度7.205千円		令和元年度7.369千円	· 令和2年度7.366千					

يا ت	一一		_	
	項目	チェック項目等		→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外		合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外		
	(1)对象胜复	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象		概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象		合致しない
		◆ 適正な負担を設定		合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定		
		◇ 上記以外		合致しない
4		◆ 団体 1/2以内		合致する
→ <del>二</del>	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内		
册	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内		
全		◇ 上記以外		合致しない
炎		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)		有(4年未満)
付				有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定		継続4年未満
の適合性	(A) D = 1 #088	◆ 終期未設定で,補助継続4年以上		同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)			い(対象外)
	(於朔政处)			同一団体補助だが、見直し設定し
				ていない
				奨励目的補助だが、終期を設定し
				ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅		合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外		合致しない
		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有		合致する
	(c) + U+=++7	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施		(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		概ね合致する
	音短のがり	◇ 書類は添付済だが,実地調査は未実施(ただし,不要な旨合理的な説明が可能なもの)		
		◇ 上記以外		合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左	(の内容を踏まえての評価)
		出荷協議会の各部会による各種栽培講習会・研修会を開催するほか、農薬検査により残留農		公益性が高い
21		薬等の事故を減らすなどの効率的な営農を推進することにより、本市におけるクリーン農業の推 進及び実践に大きく寄与し、消費者から信頼される野菜・花きの生産につながるものであるため		
		進及び夫践に入さく奇子し、消貨有から信頼される野米*化さの生産につなかるものであるにめ 公益性は高い。		公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を,具体的に記入する) 出荷協議会の各部会(構成員数389名,品目部会数30部会)の行う研修活動や農薬等検査業		の内容を踏まえての評価) 必要性が高い
3业	必要性	務を行う農薬代等の経費に対する支援により、本市農業者の生産技術向上やクリーン農業の推	-	必安任が高い
		進につながることから補助金の必要性は高い。		必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する)	〔左	の内容を踏まえての評価)
<b>4</b> ◊	力果	市内唯一の団体の運営費の負担を軽減することで運営維持を行うことができた。		効果が高い
'^	,J./\		П	効果が高いとは言えない
		  「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	Ш	刈木バ同レ゙ヒニルム目んはい
E 2	- O 44			₩ 1人 + W 76 + /- > # + + / \
57	その他	本市の野菜、花き、果樹の生産振興を図るため、出荷協議会における各部会の行う研修活動や	農	果柄食業務を行う農楽代等など負
		担コストが大きいことから,補助金支援が必要なため,本補助金に終期の設定はなじまない。		

#### 4平成28年度行政評価への対応状況等

補助金名称(当時)	旭川野菜花き生産拡大事業助成金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の目点し)	

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組 理期 題
旭川農作物の認知度向上やクリーン農業の推進及び実践を図るため、生産技術の向上及び新たな知識の習得における研修等を継続的に 課 題 行っていく必要がある。 解決に向けた取組 生産技術研修及び優良事例調査等の実施を引き続き支援することにより、生産安定と産地振興等など旭川農作物の育成を図っていく。

<u> </u>	_	
評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	生産安定と産地振興等など旭川農作物の育成を図るため、生産技術の向上や新たな知識の習得などの研修会等は継続的に行っていく必要がある。
外部評価		_
2次評価	継続	_

#### 1補助金の概要

	助金			<i>h</i> :	# I+n 111 → B	1 1±11:	カヘ <del></del> サロム								
補	助		<u>金</u>		称 旭川市界 各 団体への							#\> ₩□	1100	<b>◇</b> ℎ 廿ロ	
補 予	助	金	<u>の</u> 事		名 旭川農産	1113						労期 (事業コー	H26	終期 0611	
<u>ア</u> 所		<u>-</u> 管	<del>尹</del> 		6   心川辰悠 書	E初月	農政 部		 農業振興 課				<u>-                                    </u>		8-3718
				•		7 +±4 ±;		压	未似央 床		12	型本   作   电	110番~	1/3 H9K	0-3/10
父1	小九	(回	144 , 1	他 人 寺	) 旭川市界	・倒げ	····	夕 铥亚 收 △	· 쓰뷔티타N	·상숙 교육	の左弁から	の左帝士ィ	(宇体) アキも	. 杜 尭 田 技	· 道 1 - 推准
态在	<del>.</del>	<b>5</b> 41			(対象) 誰,何に	対し	τ	業で黄色り	んごをはじめ	とるする有	望品種の育	成や増産を	で実施してきた を支援してきた 目を行う農業者	ことにより	導入推進 <del>事</del>   今後増産が
交付目的					(意図)	犬態ロ	こしたい	協会の安定とを目的とす		旭川産果樹	の販売力や	競争力を高	高め,地域経済	斉の活性位	とに資するこ
対象	象事	業等	の内:	容	市内果いる。	樹生	:産者によ <sup>.</sup>	って構成され	いる団体であ	り, 各種研(	多会や共同的	坊除対策∙闅	宣伝普及活動	などの取	組を実施して
積算	<b>拿方</b> 》	法			新たな労 2 旭川 な人件費	働力 産果 。会	]確保に向 樹の発信,	けた検討を 宣伝に要す の飲食に係	目的として取 「る費用で、「	り組む事業 な告掲載費	ついては, ね , PR資材費,	補助対象経 ,PRイベン	引)を補助。た 費の全額を补 ト開催費を対 経費を除く。れ	補助。 象経費と	する。経常的
					① 会議	,研	修会及びF	PR事業等件	数	単位:件	2				単位:
事業の実		指標	と過す	去5年間	H28		H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
ひノラ	<b>尺</b>					36	34	33	34	26					
					① 旭川	産果	樹生産額			単位∶千円	2				
		標とi	過去5	年間の	H28		H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実統	頁				151,3	60	141,321	110,925	116,964	146,354					
2収	₹ 1	大況等	<u> </u>					<u> </u>				<u> </u>			 単位∶千円
	12(1)	<b>文</b>			平成29	平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		令和元年度(決算)		令和2年	度(決算)	佘和3:	年度(予算)
		前年	前年度繰越市補助金		1 /502.0	151		1 /200 1	134	64		DAME I	88		
						26		26		30			30		80
			会負				109	101		101			101		
址				ュュ ·かわ助											98
助	収	成金		73 47193			30	30		30		30		30	
補助対象事業等	入内訳	会助	成金	推進協調	隻		80								
<del>事</del>   業	ы, ч	受訊	E収入				89		89		80		83		85
等		売上	_金				708	401		642		497			700
の		雑収	八八				286		206		310		40		
収		その	他						113		44		2,921		
支状	収入	合計	†				1,479		1,100		1,301		3,790	1,094	
	市補	助率	٤(%)	)			1.8%		2.4%		2.3%		0.8%	7.3%	
	支出	合計				1,345		1,021		1,217		3,682	1,094		
		うち	食糧費	貴, 交際	 費										
	次年	度網					134		79	84			109		
	一般	財源	 {				26	26		30			30	8	
l	特定	]財源	<u> </u>												
市				人工			0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
負 担 額	件	正聵	模	金額			721		728		737		737		747
担   頞	費	臨時•嘱	武託/会言	計年度任用職											
	その		務費	<del></del>											
	合計		· 17.1 Se	-			747		754		767		767		827
<u></u>				17			17		17		17	16			
				 単位:円	)		43.941		44.353		45.118		45,118		51,688
THILL	,) <u>शर</u> =	- 12 -	->\\(	十 (工.)		t= +hn -			,	<b>アハス</b>		 内 支山笠田		 	•
			共通	事項		◆ 支出根拠が法令, 条例, 規則, 要綱等に基づいている ◆ 支出目的, 支出範囲が法令の規定に抵触しない ◆ 交付申請等が定めたとおりになっている									, v ·
			田上	- <b>小</b> 字 <sup>22</sup>						h	ᄷ ᅜ	ᇈᄼᆥ	<b>がしか ナ</b> いフ		
適村	各性			の運営			が適正であ				等と補助目的 	との発合性	<b>かとれている</b>		
			会計	小処理等	会計処3	里につ	ついては, 会 ている。	除計責任者の		おり、また、糸		て, 監査から	会計監査報告	を受けてい	ることから, 適
					要綱に	まづく	交付決定な	ど共通事項	を満たしている	D o					

ა¶	別項目に対する評		
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等,原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
_		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
<del>&gt;±</del>	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助		◇ 上記以外	□ 合致しない
亚		◆ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
金交付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
進		◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
準と	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
適合性			ロー同体補助だが、見直し設定し   ていない
合			-
性			│□ 奨励目的補助だが,終期を設定し ┃ ていない
	/ 5 \ 六 \		
	(5)交付規程 (支出根拠)	▼ 文竹規程は制定済, 選択基準に音致, その他必要は規定は網維 ◇ 上記以外	■ 合致する
	(又山顶沙)	·	□ 合致しない
		◇ 実績報告時,支出証拠書類提出有	□ 合致する (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	
	書類の添付	◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
2/	<b>☆</b> 性	旭川市果樹協会は、各種研修会や共同防除対策及び過去に実施した特産果樹導入推進事業	■ 公益性が高い
2.1	公価 江	で導入した黄色りんご等の特色ある旭川産果樹の宣伝普及活動などを行っており, その活動は 旭川産果樹の振興及び地産地消の推進に寄与しているため, 当団体の安定的な運営を維持す	
		ることは公益性が高いといえる。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		旭川市果樹協会では、旭川産果樹の振興、品質向上のため、各種研修会、共同防除対策、市	■ 必要性が高い
	1.1	内小中学校給食へのりんごの納入、生産者講話、ユジノ物産展へのりんごの出品、黄色りんご	
34	必要性	等特色ある旭川産果樹のPRイベントの実施など幅広い活動を実施しており、今後も果樹生産の	
		持続的な発展や旭川産果樹の販売力や競争力の高まりによる地域経済への活性化のためそれ	□ 必要性が高いとは言えない
		らの活動が必要になることから、旭川市果樹協会への補助金は必要である。	
			(左の内容を踏まえての評価)
<b>/</b> 六	<b>₩</b> 目	同団体は、市内の個人果樹農家を主体として構成しており、財政面でも脆弱であることから、補	
4%	力果	助金の交付が、運営や事業実施への一助となっている。	_ *************************************
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	その他	運営費・事業費補助は補助率1/2以内であるが、労働力確保に向けた取り組みに関わる事業	費については全額補助としている。

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
補助金名称(当時)	旭川市果樹協会補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	事業の必要性を整理・検討し、見直すこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果

### (その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
令和3年度	特産果樹発信・導入推進事業との統合による補助金交付要綱の改定

### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	<u> </u>	高齢化に伴う担い手不足により,団体の活動の中心となる果樹生産者が減少傾向にある。
解決に向けた	取組	労働力確保に向けた取組に対しても支援している。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	営利目的ではないため、財源となる収入を確保するのは難しく、安定的な運営のために市の補助金は不可欠であるため。
外部評価	_	_
2次評価	見直し	毎年度繰越金が発生していることから、今後のあり方について見直しを進めること。

#### 1補助金の概要

補 助 金 名 称	特産果樹発	信・普及推	進事業補助:	金							
補助金の性格	団体への事	業費補助					始期	H2	:9	終期	R2
予 算 事 業 名	旭川農産物	旭川農産物販売力向上対策費					(事業:	コード)		061	103
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		3	園芸 係	電話番	号	内線	8-3718
交付先(団体,個人等)	複数の農業	数の農業者で構成する団体									
交付目的	(対象) 誰,何に対	して	黄色いりん	ごをはじめと	する有望品	てきた特産界 種の育成や 川産果樹の	増産を促	足進する	ため支	援してきた	
X II E DI	(意図) どういう状態	まにしたい	旭川産果樹	の販売力や	競争力を高	が, 地域経	済の活性	生化に資	すること	とを目的と	:する。
対象事業等の内容	※ 令和3年	樹を発信, 宣 甲度からは, 前助金と統合	市内に果樹			農業者団体に	ま旭川市	ī果樹協	会のみ	であるこ。	とから旭川市
積算方法											る。経常的な 費の1/2以
	① 補助金	交付件数			単位:件	2					単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	I	H30	R01	R02
の実績		1	1	1	1						
	① 旭川産	果樹生産額			単位:千円	2		<u> </u>			
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	l	H30	R01	R02
実績		141,321	110,925	116,964	146,354						

	1241	八次寺	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	一年位: 〒日 令和3年度(予算)
		前年度繰越					
補	収	市補助金	233	113	44	26	
助动	入	協議会負担	70	114	45	27	
補助対象事業等	内	売上金					
事	訳						
<b>業</b>		その他	265		237	60	
の	収入	合計	568	227	326	113	
収	市補	助率(%)	41.0%	49.8%	13.5%	23.0%	
収支状	支出	合計	568	227	326	113	
況		うち食糧費,交際費					
	次年	度繰越					
	一般	財源	233	113	44	26	
	特定	財源					
市台	人	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
負担額	件	金額	721	728	734	737	
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員					
	-	他事務費					
	合計	-	954	841	778	763	
受:	益対	象者数	17	17	17	17	
補助	<b>助金</b> 阜	単位コスト(単位:円)	56,118	49,471	45,765	44,882	
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい.	ている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規定	に抵触しない
		八世子久	◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている			
<b>`</b> 去·		団体の運営,	◆ 会計処理が適正である	る ◇ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
迎仁	各性	会計処理等		剰余金)が補助額から判断			
			要綱に基づく交付決定な 	ど共通事項を満たしている	00		
				. 平成29年度7.205千円	. 平成30年度7.282千円	. 令和元年度7.369千円	- 令和2年度7.366千

	項目	I JAMA	チェック項目等		→ 評価
	グロ		事業費は調査、研修、懇親会等を対象外		<u> </u>
			運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	_	日以りる
	(1)対象経費		例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象		 概ね合致する
		_	食糧費等,原則対象外経費を補助対象		
			適正な負担を設定		合致する
	(2)受益者負担		受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	_	14,70
		•	上記以外		 合致しない
		•	団体 1/2以内		合致する
1	(3)補助率の参考		個人 1/3以内		
補助	基準		個人等に対する利子補給 5%以内		
補助金交付基準と		$\Diamond$	上記以外		合致しない
公臣		•	同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	_	有(4年未満)
付					有(4年以上)
基		$\Diamond$	奨励目的の補助, 終期を設定		継続4年未満
準		$\Diamond$	終期未設定で,補助継続4年以上		同一団体, 奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)				い(対象外)
の第	(心) 为及足)				同一団体補助だが、見直し設定し
適合性					ていない
口性					奨励目的補助だが、終期を設定し
					ていない
	(5)交付規程		交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅		合致する
	(支出根拠)	_	上記以外		合致しない
			実績報告時,支出証拠書類提出有		合致する
	(6)支出を証する		額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	_	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	-	実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。		概ね合致する
		•	書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)		A TELL AND
		•	上記以外		合致しない
			D補助金の公益性を,具体的に記入する)  産果樹の発信と宣伝に係る取組を支援することにより,市民をはじめ消費者への旭川産果		:の内容を踏まえての評価) 公益性が高い
21	<b>公益性</b>		度未倒の先信と具体に係る取組を支援することにより、印氏をはじの消費有べの他川産朱 振興及び地産地消の推進が図れるため公益性が高い。		公金性が高い
		123			 公益性が高いとは言えない
		(-σ	D補助金が必要である理由を, 具体的に記入する)	_	<u>公無任が高いとは言えない</u> (の内容を踏まえての評価)
O.V.파.바			産果樹の発信と宣伝に係る取組を支援することにより、旭川産果樹の販売力や競争力が高		. <u>の内容を聞なれての計画/</u> 必要性が高い
3业	必要性		地域経済の活性化に資するため必要である。	_	<b>必</b> 安压》。同0.
					必要性が高いとは言えない
			D補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左	(の内容を踏まえての評価)
4交			ぶが独自に行うPRイベント事業費に50%の補助を行ったことで, 旭川産果樹の発信, 宣伝及		効果が高い
		ひ泪	費者への普及が図られ、旭川産果樹の振興に寄与した。	$\Box$	効果が高いとは言えない
		「補目	助金交付基準との適合性」で合致しない理由について. 記載し説明すること。		WYW III CIRELIA
54	一の他	1111			
	, V) (L)				

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(2)対応年度	共体的な内分と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果
令和3年度	旭川市果樹協会補助金へ統合

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	
解決に向けた取組	

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	_	
2次評価	終了	

#### 1補助金の概要

一門別並の似女										
補助金名称	加工・販売	加工·販売施設整備等支援事業補助金								
補助金の性格	団体・個人への事業費補助						始期	H24	終期	_
予 算 事 業 名	農産物等流	通拡大支援	費				(事業コ	ード)	06110	)5
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		5	園芸 係 「	電話番号	内線 8	3-3719
交付先(団体,個人等)	旭川市内の	)農業者等()	農地所有適	格法人·農	業者∙複数 <i>0</i>	)農業者で構	構成する団	体・市内を管	轄する農業	(協同組合)
交付目的	(対象) 誰, 何に対	して	農畜産物加	1工施設や加	工機器の	整備並びに新	新商品開發	発等を進める	農業者等	
X 13 E 103	(意図) どういう状態	態にしたい	農産物の高	付加価値化	ごを図り,本	市の6次産	業化を推済	進する。		
対象事業等の内容	旭川市内の農業者等(農地所有適格法人・農業者・複数の農業者で構成する団体・市内を管轄する農業協同組合)に対し、農畜産物の加工施設や加工機器の整備、農畜産物販売施設(直売所・飲食施設)の整備、並びに農畜産物を加工した新商品開発に係る補助金を交付し、本市の6次産業化を図る。									
積算方法	<ul><li>2 新商品</li><li>※新型コロ</li></ul>	1 加工・販売施設整備事業:総事業費の2/5以内を補助(1件当たりの上限200万円) 2 新商品開発支援事業:総事業費の1/2以内を補助(1件当たりの上限10万円) ※新型コロナウイルス感染症対策として(R2, R3年度) 1 加工・販売施設整備事業:総事業費の1/2以内を補助(1件当たりの上限200万円)								
	① 補助金	交付件数			単位:件	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	3	4	4	6	14					
	① 農業生	産額			単位:億円	2			•	単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	131	134	124	136	139					

	*****					单位.十门
		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	前年度繰越	0	0	0	0	0
補収	市補助金	2,999	3,042	2,582	12,164	2,650
補 収入	事業者負担	13,865	3,755	3,863	16,666	2,650
象 内						
事。						
象 事 業 等	その他					
の収入	合計	16,864	6,797	6,445	28,830	5,300
収市補	助率(%)	17.8%	44.8%	40.1%	42.2%	50.0%
支大大	合計	16,864	6,797	6,445	28,830	5,600
況	うち食糧費、交際費					
次年	度繰越	0	0	0	0	0
一般	財源	2,999	3,042	2,582	2,800	150
特定	財源	0	0	0	9,364	2,500
東人	正職員 人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
台 件	金額	721	728	737	737	747
額費	臨時·嘱託/会計年度任用職員					
その	他事務費					
合計		3,720	3,770	3,319	12,901	3,397
受益対象	<b>录者数</b>	4	4	6	14	4
補助金単	位ロスト(単位:円)	930,000	942,500	553,167	921,500	849,250
	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条件	例,規則,要綱等に基づし	ヽている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	とに抵触しない
	六四争块	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている			
\ <del></del>	団体の運営,	◇ 会計処理が適正であ	る ◇ 設立目的	ウ, 事業内容等と補助目的	」との整合性がとれている	
適格性	会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判	断し,妥当である		
		※人件费(正聨昌公)け	· 平成29年度7.205千円	□ 亚战20年度7,202千□	D 今和元年度7,260年[	□ 今和2年度7,266年

	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4~++	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助企		◆ 上記以外	■ 合致しない
金交付基		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
人		V F1 ETT (-23 ) WILLIAM TO CELECT SEED OF REMAIN - PROBLEM (0)	
其		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 帰続・平水渦   □ 同一団体, 奨励目的補助ではな
غ	(4)見直し期間	▼「ペッパの文とく、「市の小型ルル・ナンエ	い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
適			□ 同一団体補助だが、見直し設定   していない
適合性			
			■ 奨励目的補助だが,終期を設定 していない
	(5) 太从担和	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(5)交付規程 (支出根拠)	▼ 文刊 祝程は前足済, 選択基準に占致, その他必要は祝足は桐維 ◇ 上記以外	
	(文山很)	·	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有 ▲ 第の確定時、実地調本等(語の活帳のまり記載書籍原本、帳簿等の確認)を実施	■ 合致する (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	┃□ 概ね合致する
		◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	<b>公益性</b>	6次産業化・農産物の高付加価値化の推進は市内農業の振興及び地域への経済効果に資	■ 公益性が高い
	, mr i –	するものであるが,国その他の補助金は補助要件等が厳しく,本市農業者の経営規模,事業 内容等に対応した補助金が少ない現状においては,地域の実情に合った本補助金の公益性	
		は高い	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	農業の6次産業化・農産物の高付加価値化推進は国の施策であるとともに市長公約の一つ	■ 必要性が高い
ر	ryit	でもあるが、国その他の補助金は補助要件等が厳しく、本市農業者の経営規模、事業内容等	- Naturation 1 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2 2 4 1 1 2
		に対応した補助金が少ないため、地域の実情に合った市独自の支援策が必要である。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		令和2年度以前は例年施設整備2~4件,商品開発2件,令和2年度は新型コロナウイルス 感染症対策として施設整備14件(商品開発については六次産業化・販路開拓等緊急支援事	■ 効果が高い
4%	<b>月</b> 未	窓実証対束として他設金値  14件(筒面開発については八次座業化・放路開和寺案芯叉振事  業にて対応)の本補助金の活用実績があり,国その他の補助金の活用が困難な新規就農者	
		等の事業拡大、経営安定化に寄与している。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	切世ーフレの各セギーキハーしんこ
		「(3)補助率の参考基準」農業所得が低迷している中, 加工・販売施設の整備等については, 補助率を2/5以内と定めている。	<b>初期コストの負担か入さいことから</b> ,
		補助平を2/300円と足めている。  ※ R2, R3においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした緊	急支援策であること そして 対象者
		が新型コロナウイルス感染症により受けている影響の大きさや、事業目的と緊急性に鑑み、平	
		した。	
		また、6次産業化については、営農規模や6次産業化の段階(一般に初期段階では商品の試	
		く、製造・販売が軌道に乗り事業拡大を目指す段階で自前の製造設備等を整備することが多い	ヽ。)に応じた中長期的な視点からの支
		援が必要であり、6次産業化を奨励する本補助金について期間(終期)の設定はなじまない。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(1〕以計1四)</u>	
補助金名称(当時)	加工·販売施設等整備事業補助金,実需連携型商品開発等推進事業補助金
(1)行政評価の結果	理由,改善,見直しの方向
継続	
(2)対応年度	具体的な内容と効果

#### (その他の見直し)

(での他の元旦し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
平成29年度	実需連携型商品開発用推進事業を統合した。

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	6次産業化を推進するためには、意欲ある個々の取組を支援することに加え、多くの農業者に波及する取組が重要となる。
解決に向けた取組	意欲有る個々の取組を継続して支援していくとともに、旭川市食品産業支援センター等関係機関と連携しながら6次産業化の促進に取り 組んでいく。

<u> 0 王 14 印計1</u>	0.主体的計1111									
評価	結果	理由,改善・見直しの方向								
1次評価		農業者等による農畜産物の高付加価値化や特産物開発のための加工施設や加工機器の整備、農畜産販売施設の整備、新 商品開発及び販路拡大に係る初期投資の負担を軽減していくことで6次産業化の促進を支援していく。								
外部評価		<del>-</del>								
2次評価	継続	<del>-</del>								

#### 1補助金の概要

補 助 金 名 称	市場開拓等	市場開拓等事業助成金								
補助金の性格	団体への事	]体への事業費補助 H20 終期 H20 終期 M30 N30 N30 N30 N30 N30 N30 N30 N30 N30 N					_			
予 算 事 業 名	農産物等流	通拡大支援	費				(事業コー	-ド)	06110	5
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		<u> </u>	慰芸 係 電	話番号	内線8-	3718
交付先(団体,個人等)	旭川青果物	l出荷組合連	合会							
交付目的	(対象) 誰, 何に対し	対象) 地川市民ほか消費者 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
文刊 日刊	(意図) どういう状態	気にしたい	旭川産野菜	の認知度向	上					
対象事業等の内容	心・安全な農	農産物の産均	也であること		教育機関等			返店等での試 を市内イベン		
積算方法	事業費の1 業は, 市長2						全・安心な	農産地確立の	のために行う	新たな事
	① 試食販	売回数			単位:回	② 高等教育	機関との商品開	発品のイベント等	<b>デでの販売回数</b>	単位:回数
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	50	12	11	10	0			9	3	1
	① 農業生	産額			単位:億円	2			-	単位:
成果指標と過去5年間の 常徳	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	131	134	124	136	139					

2収支状況等

24	⊉収支状況等							
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
		前年度繰越	0	0	0	0	0	
補	収	市補助金	816	300	147	199	150	
対別	入	協議会負担	524	601	123	200	125	
象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他	700	0	100	100	100	
の	収入	合計	2,040	901	370	499	375	
収	市補	助率(%)	40.0%	33.3%	39.7%	39.9%	40.0%	
支状	支出	l合計	2,040	901	370	499	375	
況		うち食糧費、交際費						
	次年	度繰越						
	一般	財源	816	300	147	199	150	
	特定	財源						
市台	人	正職員	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
負担額	件	金額	721	728	737	737	747	
額	費	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
	その	他事務費						
	合計	-	1,537	1,028	884	936	897	
		象者数	407	389	370	370	370	
補」	功金草	単位コスト(単位:円)	3,776	2,643	2,389	2,530	2,424	
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条件	列,規則,要綱等に基づい <sup>.</sup>	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない	
		八匹子久	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている				
址	団体の運営, 適格性 合計加速等		◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている		
心	恰性	会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判断	fし, 妥当である			

31	週別項目に対する評 		
	項目	チェック項目等	➡ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助全		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交付		◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
غ	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		■ 同一団体補助だが、見直し設定し
適			■ 同一団体補助たが、先直し設定し ていない
適合性			-
性			□ 奨励目的補助だが,終期を設定し ていない
	(5) 太从担和		■ 合致する
	(5)交付規程 (支出根拠)	▼ 文竹規程は制定済, 選択基準に音致, その他必要は規定は網維 ◇ 上記以外	
	(又山似")	·	□ 合致しない
	(6)支出を証する	◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する (※左欄2項目とも適合)
		◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	☆益性	青果物出荷団体が行う農産物の市場開拓等による販路の拡大や普及・宣伝は、旭川産農産物の魅力や信頼を高め、旭川産品としてのブランドカ向上、高付加価値化、販路拡大を図り、本市	■ 公益性が高い
_ 1	A IIII   I	の魅力や信頼を高め、旭川産品としてのフラフトカドエ、高竹加価値に、駅路拡入を図り、本川 農業の振興及び地域への経済効果に資するためのものであるため、本補助金の公益性は高	
		成本の拡発及の必然での性別別本に受力である。こののでの、本情的並の五重には同い。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を,具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		青果物出荷団体が行う農産物の市場開拓等による販路の拡大や普及・宣伝は、本市の農業の	■ 必要性が高い
31	必要性	振興及び地域への経済効果に資するものであるが、国その他の補助金は補助要件等が厳しく、	
		経営規模、事業内容等に対応することが難しいため、青果物出荷団体に対する地域の実情に	□ 必要性が高いとは言えない
		合った市独自の支援策が必要である。	
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		旭川青果連と旭川農業高校生が連携し、安全・安心な農産地確立のために行う新たな事業に	■ 効果が高い
<b>⊿</b> ₺	力果	40%の補助を行うことで,Yes!clean認証を取得している旭川青果連の野菜を使用した新商品が生まれた。	
7		は ほかにも産地の魅力や特色を市民をはじめ道外消費者に情報発信することで,旭川農産物の魅	
		力や信頼を高め、旭川産品としてのブランドカ向上を図り、高付加価値化、販路拡大を図ること	□ 効果が高いとは言えない
		に効果的である。	E MANGE EIGHT CO.
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		│ │ 旭川青果連と旭川農業高校が連携し、安全・安心な産地確立のために行う新たな事業に40%の	D補助を行うことで Voolalaan認証を
54	一の他	旭川青米建と旭川辰未高校が建携し、女主・女心な産地確立のだめに打り新たな事業に40%0  取得している旭川青果連の野菜を使用した新商品が生まれた。	アロリアでコントにて、Tes:Clean認証を
		はいてもできる。 はかにも産地の魅力や特色を市民をはじめ道外消費者に情報発信することで、旭川農産物の魅力	カや信頼を高め,旭川産品としてのブ
		ランドカ向上を図り、高付加価値化、販路拡大を図ることに効果的である。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	市場開拓等事業助成金
(1)行政評価の結果	理由,改善,見直しの方向
継続	事業内容が多岐に渡っているため、個々の効果検証を行うこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
/スの44の日末1)	

<u>(その他の見直し)</u>

見直しの年度	具体的な内容と効果
平成29年度	本事業における取組として、市内教育機関(高等学校)との連携を新たに取り入れたことで、旭川産野菜の付加価値や認知度の更なる向上を図った。

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	KZ.	消費・流通の多様化への対応を進める必要がある。安全・安心な農産物へのニーズは今後ますます高まっていくことが予測されることから,クリーン農業の取り組みをより強くPRし,差別化を進めていくことが重要である。
解決に向	けた取組	安心・安全をPRするための市民等へ向けたフェアの開催や野菜パッケージにメッセージカードを同封するなど、多様な角度からクリーン農業 への取り組みをPRしていく。

<u> </u>	או דם כיו	Ц	
評	価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評	平価	시구 사는	安全・安心な農産物へのニーズは今後、ますます高待っていくことが予想されることから、クリーン農業の取り組みをより強くPRし、 旭川産品としてのブランドカ向上を図る。
外部部	平価	1	-
2次評	平価	継続	効果的な事業となるよう,これまでの取組の効果を検証し、今後の事業展開に生かすこと。

#### 1補助金の概要

補助金名称	六次産業化	六次産業化·販路開拓等緊急支援事業補助金								
補助金の性格	団体・個人・	団体・個人への事業費補助					始期	R2	終期	R2
予 算 事 業 名							(事業コー	-ド)	06117	2
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		5	園芸 係 電	話番号	内線 8	-3719
交付先(団体,個人等)	旭川市内の	農業者等()	農地所有適	格法人·農業	€者∙複数の	農業者で構	成する団体	・市内を管轄	まする農業協	弱同組合)
交付目的	(対象) 誰,何に対			サービスの1 制度の利活			市場開拓,	農畜産物の	高付加価値	化に資する
<b>文</b> 的日的	(意図) どういう状態					こ伴う影響を り事業活動の		美者に対し支 大を図る。	援を実施す	ることで, 販
対象事業等の内容	に対し、新商	あ品∙新サー	ビスの規格	•開発,農畜	産物の市場	開拓, 農畜	産物の高付	体・市内を管  加価値化に  農業者を支援	資する規格	
積算方法		也域経済等の	4/5以内(1 D活性化が。				持例として哥	事業に要する	経費の5/	5以内(1件
	① 補助金	交付件数			単位:件	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績					9					
***********	① 農業生	産額			単位:億円	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績					139					

2収支状況等 単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	前年度繰越				0	
山収	市補助金				2,179	
収入内訳	事業者負担				1,435	
内						
訳						
	その他					
収入	合計				3,614	
市補	助率(%)				60.3%	
支出	台計				3,614	
	うち食糧費,交際費				0	
次年	度繰越				0	
一般	以財源				0	
特定	財源				2,179	
人	正職員 人工				0.1	
件	金額				737	
人 件 費	臨時·嘱託/会計年度任用職員				0	
その	)他事務費				0	
合計	+				2,916	
益対	象者数				9	
助金島	単位コスト(単位:円)				324,000	
	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条件	M, 規則, 要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	n, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
	八過事項	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている			
ᅩᄼ	団体の運営,	◇ 会計処理が適正であ	る ◇ 設立目的	内, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
格性	会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判し	断し, 妥当である		
		 	. 平成29年度7.205千円		], 令和元年度7,369千円	· 令和2年度7.366千
		円, 令和3年度7,466千月		., . ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

<u> </u>	項目	チェック項目等	├── 評価
	次口	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
		<ul><li>▼ 事未負は調査, 切修, 芯枕云寺とれ家介</li><li>◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外</li></ul>	■ □以りる
	(1)対象経費	<ul><li>◇ 煙呂負は又除負, 慶中負, 飲食負, 恋枕云負 する がまか</li><li>◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象</li></ul>	  □ 概ね合致する
			□ はなら取りる □ 合致しない
		<ul><li></li></ul>	■ 合致する
	(2)受益者負担	<ul><li>▼ 過止な負担を設定</li><li>◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定</li></ul>	■ 白玖9句
	(名)交無有負担	□ 上記以外	□ 合致しない
		<ul><li>□ 工品以外</li><li>◇ 団体 1/2以内</li></ul>	□ 合致しない
1	(0) 世界本の名本	◇ 団体 1/2以内   ◇ 個人 1/3以内	L
補	(3)補助率の参考 基準	◇ 個人 1/3以内   ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準	<b>坐</b> 丰	◆ 上記以外	
金		•	■ 合致しない
父		◇ 同一団体に対する補助,4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	■ 有(4年未満)
打世		人 将历日的办法师 级期去记字	□ 有(4年以上)
<b>荃</b>		◇ 奨励目的の補助,終期を設定 ◇ 終期未設定で,補助継続4年以上	┃□ 継続4年未満
۲₽	(4)見直し期間	◇ 於粉木改足で、補助極枕4年以上 	┃□ 同一団体, 奨励目的補助ではな ┃ い(対象外)
9	(終期設定)		
滴			□ 同一団体補助だが、見直し設定し ていない
合			
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定していない
	/c\ <del>☆</del> 仏+B <b>5</b> D	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	
	(5)交付規程 (支出根拠)	▼ 文竹規程は制定済, 選択基準に音致, その他必要は規定は制維  ◇ 上記以外	■ 合致する
	(文山1以)处/	◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	□ 合致しない
		▼   実積報合時, 文山証拠音規提出有   ◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	┃■ 合致する (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	<ul><li>▼ 額の確定時, 美地調査等(預並通帳で文山証拠者類原本, 帳簿等の確認)を美地</li><li>◇ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。</li></ul>	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 美額報合時、普段入量で、抽出確認や美地調査等で添りに省えている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	凵 (城は古以り句 
		◇ 音規は添り済たが、美地調査は不美施(たたし、不要な自合達的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	 □ 合致しない
		◇ 工記以外 (この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内農業者等を支援することで, 本市経済の回復	(左の内谷を踏まれての計画) ■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	につなげようとするものであることから、公益性が高い。	■ 公無任物・同じ・
			  □ 公益性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
_ 、	. <del></del>	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う取引先の休業や業績悪化,消費者の意識や生活様	■ 必要性が高い
3业	必要性	式の変化に対応するため、販売形態の見直しや販路開拓等によって事業活動の継続及び拡大	■ 必安圧が同い
		を図る農業者への支援が求められており、必要性が高かった。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
<b>4</b> 🌣	力果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた9件の農業者を支援することで、経済活動回復の下	■ 効果が高い
. ,,		支えに寄与した。	ローが用が立いしけまったい
		「妹い今六八甘淮しの済る州」で今かしたい理由について、司書に説明せてこと	□ 効果が高いとは言えない
	. O. III.	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	一の他	1(3)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とした緊急支援策であること。	
		染症により受けている影響の大きさや,事業目的と緊急性に鑑み,平時の参考基準を上回る補助	『学で設疋しに。

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u> </u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由,改善,見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(みの他の目古し)	

<u>(その他の見直し)</u>	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向		
1次評価	終了			
外部評価	_			
2次評価 終了 新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり、終了する。				

#### 1補助金の概要

補助金名称	観光農園(果樹)応援事	掌業補助金							
補助金の性格	団体への事業費補助					始期	R2	終期	R2
予 算 事 業 名	(新)観光農園(果樹)「	返援事業費				(事業コ-	ード)	061	175
所 管 部 署	農政 部	農	業振興 課		<u> </u>	慰芸 係 『	電話番号	8-	·3740
交付先(団体,個人等)	旭川市果樹協会								
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	が懸念され							や需要の減少 者が行う観光
נים היים נין א	(意図) どういう状態にしたい	観光農園( <sup>-</sup> る。	サクランボ狩	りの利用(	足進及びPRI	に係る取組	目を緊急的に	支援する	ことを目的とす
対象事業等の内容	新型コロナウィルス原学生に対しサクランボを PRや販売拡大、地産地	守りの無料入	、園券付チラ	シ(小学生無	乗料1名につ	き大人1名			
積算方法	   補助率は対象経費の 	10/10以[	内						
	① 観光農園(サクラン	ボ狩り)実施	期間	単位:日間	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績				24					
	① 観光農園(サクラン	<u>.</u> ボ狩り)来園	者数	単位:人	2				 単位:
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績				4,155					

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	前年度繰越				0	
甫 収	市補助金				2,895	
甫叻讨象事業等	協議会負担				0	
内						
影響						
長 车	その他					
) 収/	入合計				2,895	
市神	補助率(%)				100.0%	
支上	出合計				2,895	
Ž	うち食糧費、交際費				0	
_	年度繰越				0	
	一般財源				0	
	定財源 				2,895	
人屋	人工				1.0	
人件費	金額				7,366	
	臨時・嘱託/会計年度任用職員				0	
	の他事務費				0	
合語					10,261	
	├ <b>象者数</b> 				4,155	
助金	単位コスト(単位:円)				2,470	
	共通事項			ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
		◆ 交付申請等が定めた				
	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ <sup>®</sup>		句, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
현기다 1조	会計処理等	◆ 決算における繰越金(	(剰余金)が補助額から判断	新し, 妥当である		
		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		- P	], 令和元年度7,369千円	

#### 3個別項目に対する証価

Jμ	□別児日1−刈りる計		
	項目	チェック項目等 ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	┃■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等,原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
1補助金交付基準と	/a\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	- A Thi And A
		◆ 上記以外	■ 合致しない
	(->	◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◆ 上記以外	■ 合致しない
交			■ 有(4年未満)
付			口 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	┃□ 継続4年未満
準し	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
こ の	(終期設定)		い(対象外)
適			□ 同一団体補助だが、見直し設定し
合			ていない
合性			┃□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
_			ていない
	(5)交付規程 (支出根拠)	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	口 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	┃□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	<b>公益性</b>	新型コロナウイルス感染症の影響が懸念された観光農園(果樹)を支援することで,本市の農産物生産者の生産意欲回復につなげようとするものであることから,公益性が高い。	■ 公益性が高い
	- <u> </u>	座初生座有の生産息欲凹後につなけようとするものであることから、公益性が高い。 	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	新型コロナウィルス感染症の影響により、利用客や需要の減少が懸念される観光農園の対策	■ 必要性が高い
		の一環のため,観光農園(果樹)農業者の支援が求められており,必要性が高かった。	  □ 必要性が高いとは言えない
		  (この補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		新型コロナウイルス感染症の影響を受けた果樹の観光農園(果樹協会会員9戸)を支援したこ	■ 効果が高い
4効果		新宝コログライルへ巡来症の影響と支げた米樹の観光展園(米樹伽芸芸員の)がと文優したと  とで,期間中にクーポン利用者が4,155人,クーポンを利用しない同伴者が1,197人の合計5,352	■ 刈未が向い
'/,	,J>K	人が来園したことにより、果樹農家の経営の安定化の一助となったほか、地元消費者への旭川	ローが用が立いしけまったい
		産果樹の認知度向上や、地産地消による地域経済の活性化を図ることができたため効果が高	┃□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。	
52	一の他	1(2), (3)	
57		新型コロナウイルス感染症対策として緊急に観光農園(果樹)を支援するため、また、全額、国の	D臨時交付金の対象経費として実施し
		たものであるため。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(-)     <del>                                 </del>	
(2)対応年度	具体的な内容と効果
/スの炒の日本! )	
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施.	上の課題と	その解決に	向けた取組

課	題	
解決に向	けた取組	

三年的計	· 結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	終了	
外部評価	_	
2次評価	終了	新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業であり、終了する。

#### 1補助金の概要

補 助 金 名 称	耐久性・生	付久性・生産効率向上支援事業補助金									
補助金の性格	団体への事	団体への事業費補助					始期	R	2	終期	-
予 算 事 業 名	強い園芸産	地づくり支持	爰費				(事業:	コード)		0623	313
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		5	園芸 係	電話番	号	8-371	9(内線)
交付先(団体,個人等)	旭川青果物	7生産出荷協	爲議会各地区	区支部, 東神	·楽蔬菜研究	会					
交付目的	(対象) 誰,何に対	して	旭川市内 <i>の</i>	)農業者							
X19 E19	(意図) どういう状態	態にしたい	ることで産り	也の生産力流	減退に歯止る		策や貿易				性の向上を図 くい足腰の強
対象事業等の内容	耐久性の て替えを支		使用し, 間口	1等が広く生	産効率が向	上するハウス	スの新規	<b>遵</b> 入及7	び老朽り	比したハワ	ウスからの建
積算方法	事業費の	2分の1以内	かつ1坪当た	⊱りの補助上	:限額2万円	以内					
	① 導入農	家数			単位∶戸	② 導入棟	数				単位:棟
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	ı	H30	R01	R02
の実績					10						19
	① 農業生	<u></u>			単位:億円	2					単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29		H30	R01	R02
実績					139						

<u> </u>	^_	八兀守					单位:十円
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		前年度繰越				0	0
補	収	市補助金				10,746	11,000
助力	入	協議会負担					
補助対象事業等	内	事業者負担				11,118	11,000
事	訳						
美生		その他					
の	収入	合計				21,864	22,000
収	市補	助率(%)				49.1%	50.0%
収支状	支出	l合計				21,864	19,082
7人		うち食糧費,交際費					
	次年	度繰越				0	0
	一般	財源				10,746	11,000
	特定	財源					
市	Y	一一 人工				0.1	0.1
負担額	17	正職員金額				737	747
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員					
		他事務費					
	合計	-				11,483	11,747
受	益対	象者数				10	9
補助	助金島	単位コスト(単位:円)				1,148,300	1,305,222
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条件	列,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	ウ, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
		八四爭攻	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている			
		団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	句, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
適格性		会計処理等	◇ 決算における繰越金(	(剰余金)が補助額から判認	新し, 妥当である		
			※人件費(正職員分)け	· 平成20年度7 205千年	1 平成30年度7.282千円		会和2年度7366千
			/11/11 艮 / 44以尺刀 / 10	·,	」,	」,   1	, 13 1 H L T /X / 1000

	項目		→ 評価
	7, 1	◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
		<ul><li>→ すべ気(はあ)程, おんとうとれるが</li><li>◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外</li></ul>	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	<ul><li>■ 合致する</li></ul>
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
佣品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金金		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◆ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	■ 継続4年未満
補助金交付基準と	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
0	(終期設定)		い(対象外)
適			□ 同一団体補助だが,見直し設定し ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
-			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する 書類の添付	◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する (※土間の項目 b+ 済会)
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
		◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	□ 合致しない (左の内容を踏まえての評価)
		本事業は、産地の生産力減退に歯止めを掛け、国策や貿易自由化への影響を受けにくい足腰	【 全の内谷を踏まれての計画) ■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	の強い園芸作物の産地としての維持・発展、本市農業の振興及び地域への経済効果、農業者	■ 公無ほが高い
		の農業経営の安定に資するものであるため、公益性は高い。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
_ ,	1:1	高齢化や担い手不足等により生産者が減少傾向にあることに加え,天災や天候不順により,	■ 必要性が高い
3必要性		生産に影響が出てくることも多いことから、耐久性の高い資材を使用し、間口等が広く生産効率	
		が向上するハウスの導入を支援することは, 足腰の強い園芸作物産地としての維持及び発展を 図るためにも必要である。	□ 必要性が高いとは言えない
4効果		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		令和2年度は10戸19棟の耐久性ハウスが導入され,令和3年度も9戸16棟の導入が見込まれており、耐久性ハウスが着実に増えており、効果は高い。	■ 効果が高い
		The state of the s	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
57	の他		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

	, 07 10 07 元 巨 し /	
目	直しの任由	目体的な内容と効果
兀	但しの十尺	兵がいる内分と対大

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

評価		理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	補助金が創設されて2年目であり、生産性の向上を図るためにも引き続き耐久性ハウスへの導入支援は必要である。
外部評価	_	_
2次評価	継続	

#### 1補助金の概要

補 助 金 名 称	水稲育苗後ハウス利用推進事業補助金									
補助金の性格	団体への事業	団体への事業費補助					始期	R2	終期	_
予 算 事 業 名	施設園芸スタ	タートアップ	支援費				(事業コ	ード)	0623	43
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		<u> </u>	慰芸 係	電話番号	内線	3-3718
交付先(団体,個人等)	あさひかわ農	農業協同組 <sup>.</sup>	合, 東旭川島	農業協同組織	合, たいせつ	農業協同組	l合,東神	楽農業協同	]組合(西神	<b>楽地区</b> )
	(対象) 誰, 何に対し	対して 旭川市内の農業者								
交付目的	(意図) どういう状態		力減退に歯						ることにより, 要の強い園芸	産地の生産 作物産地とし
対象事業等の内容	水稲育苗後 産の維持拡z		利用した野菜	<b>支栽培導入を</b>	支援し,市に	内水稲農家(	の施設園	芸への参入	を促進するこ	ことで,野菜生
積算方法	事業に要す	<sup>-</sup> る経費の2	2分の1以内	かつ間接事	業者(農業	者)1戸につる	き100万円	円以内		
	① 新しく養液	を栽培シスラ	テム等を導入	した農家数	単位:戸	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績					1					
* B * E   10 + - + 50 -	① 農業生産	額			単位:億円	2			•	単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績					139					

	1/1/20 ()		2.似又认沉寺					
		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)		
	前年度繰越				0	0		
補┃ 曲┃収	市補助金				1,200	1,800		
朝 入								
補助対象事業等	事業者負担				3,054	3,200		
事 訳								
美   笙	その他							
の収	入合計				4,254	5,000		
収市	補助率(%)				28.2%	36.0%		
支援	出合計				4,254	5,000		
況	うち食糧費、交際費							
次4	年度繰越				0	0		
— f	<b>般財源</b>				1,200	1,800		
	定財源				0	0		
南 人	人工				0.1	0.1		
負担額	·   金額				737	747		
	PHILAD MAILE TO THE TAX IN THE TA							
	の他事務費				0	0		
合					1,937	2,547		
	Ϳ <b>象</b> 者数 				1	3		
補助金	単位コスト(単位:円)				1,937,000	849,000		
	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条件	列,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	内, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない		
	八起手头	◆ 交付申請等が定めた	とおりになっている					
ᆥᄼᅑᆂᅷᄼ	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	内, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている			
適格性	会計処理等	◇ 決算における繰越金	(剰余金)が補助額から判認	断し, 妥当である				
		<u></u>	平成29年度7 205千円	· 平成30年度7.282千円	]. 令和元年度7.369千円	<u></u>		

	項目		→ 評価
			■ 合致する
	(4) 土1 岳 47 井	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
4		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
油	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
册	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◆ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	■ 継続4年未満
補助金交付基準と	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外)
の適	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定し ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6) 士山太証士ス	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する 書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	日次ひがじ	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
			□ 合致しない
			(左の内容を踏まえての評価)
21/2	<b>公益性</b>	市内の野菜生産は減少傾向にあり、農家の高齢化、後継者不足等から更に減少する懸念があることから、水稲農家の野菜生産への新規参入を促す施策が必要であり、水稲育苗後ハウス利用の推進はその一端を担うものであり、本市農業の振興、農業者の経営安定に資するもので	■ 公益性が高い
		あるため、公益性は高い。	□ 公益性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
3业	必要性	栽培参入を促進することにつながり、野菜生産の維持拡大を図るためにも必要である。	■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	令和2年度は1件,令和3年度の需要調査では3件と水稲育苗後ハウスを利用する農業者が増えており,また,令和2年度は1JAのみの申請であったのに対し,令和3年度は2JAからの要望	■ 効果が高い
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
5-7	の他		
_			

#### 4平成28年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(3 - 11 - 9 - 1 )	l .

(その他の見直し)

(での他の兄担し)	
見直しの年度	一旦体的な内容と効果
九世のの「及	ス件はからけると

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 水稲育苗後ハウスの利用促進を図るためにも、補助対象の拡大等、事業者のニーズを把握することが必要である。 解決に向けた取組 各JA、農業者等から水稲育苗後ハウスを利用することに対する調査を行うなど、需要把握を行っていく。

	Щ	
評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		2年目の補助金であり、継続して水稲育苗後ハウス利用の促進支援をすることで野菜生産への新規参入を促し産地維持を図ること  が必要であるため。
外部評価		_
2次評価	継続	_

#### 1補助金の概要

一冊助並の佩女										
補助金名称	冬期野菜栽	S 期野菜栽培普及推進事業補助金								
補助金の性格	団体への補	団体への補助(運営費·事業費)					始期	R2	終期	_
予 算 事 業 名	施設園芸ス	タートアップ	支援費				(事業コー	-ド)	06234	-3
所 管 部 署		農政 部	農	業振興 課		<u> </u>	慰芸 係 電	:話番号	8-37	'18
交付先(団体,個人等)	旭川市内の	<b>旭川市内の農業者</b>								
交付目的	(対象) 誰,何に対	して	第2号に定 ・経営耕地	める者をいう 面積30a以.	5。)で次の嬰 上又は年間	産組織(旭J 要件を全て満 農産物販売。 いう。)を保有	うちょう あいまっち あっぱい あいま しょう あいだい あいま しょう あいま かい あい かい かい かい かい おい おい かい おい おい かい	人上であるこ		9第1号及び
	(意図) どういう状態	態にしたい	における実		果に基づく名	検及び平成3 冬期野菜栽 <sup>は</sup> 援する。				
対象事業等の内容	積雪がある 事費を支援		きに耐えるだ	こめのハウス	くの強靭化,	多重構造化	に資する資	材等の購入	、費, 加工費	及び取付工
積算方法		単純更新に係				既に上記資 治又はマル				
	① 導入農	家数			単位:戸	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績					5					
	① 農業生	産額			 単位∶億円	2	•		·	<b>—</b> 単位∶
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績					139					
									•	

			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		前年度繰越					
補	収	市補助金				193	200
划	入	協議会負担					
補助対象事業等	内訳	事業者負担				221	200
事	八						
等		その他					
の	収入	、合計				414	400
収支		助率(%)				46.6%	50.0%
収支状	支出	l合計 -				414	400
況	_	うち食糧費、交際費					
		度繰越					
		財源				193	200
I		財源					
巾負	人	人工				0.1	0.1
市負担額	件費	金額				737	747
額		臨時·嘱託/会計年度任用職員					
	合計	)他事務費 				930	947
平						5	547
-		<u> </u>				186,000	189,400
I'm	19) 31¢ =		◆ 支出根拠が法令 条(	 列 規則 要綱等に其づい	ている ◆ 支出目的		,
		共通事項	◆ 交付申請等が定めた		<b>₹</b>		
		団体の運営,	<ul><li>◇ 会計処理が適正である</li></ul>			との整合性がとれている	
適	格性	会計処理等		(剰余金)が補助額から判断			
			 	平成29年度7 205千円	1 平成30年度7.282千円	], 令和元年度7,369千円	<b>会和2年度7.366</b> 千

31	固別項目に対する評		
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
伸吐	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
リタ		◆ 上記以外	■ 合致しない
補助金交付基準		◆ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	■ 継続4年未満
準		◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
との適合性	(4)見直し期間	V 137771 BAVE 37 HILL STEEL TO 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	い(対象外)
	(終期設定)		 □ 同一団体補助だが、見直し設定し
			ていない
			□ 奨励目的補助だが, 終期を設定し
性			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
	(XIII)XIX	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	<ul><li>■ 合致する</li></ul>
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
	\ <del>\ \  </del>	休閑期のハウス利用の促進により野菜生産額の増加、本市農業者の農業経営の安定化及び	■ 公益性が高い
23	<b>公益性</b>	農業者の所得向上に寄与するほか、今後、通年で仕事が発生することによる新たな雇用創出に	
		繋がる可能性があるため、公益性は高い。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		当事業が、農業者が新たに施設園芸に挑戦する動機づくりの足掛かりとなることで、農業への	■ 必要性が高い
3必要性		新たな可能性が広がるほか、地場の野菜が出回りにくい冬期に出荷することで高単価での販売	
		や差別化が可能であることから、旭川産野菜の販売力が高まり地域経済の活性化に資するた	
		め、必要である。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 4件の農業者へ50%の事業費補助を行ったことで、冬期野菜生産の振興を図ることができた。	(左の内容を踏まえての評価)
43	功果	4件の辰未有へ50%の争未負補助を打つにことで、令劫野米土産の振典を図ることができた。 	■ 効果が高い
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
5-	その他	団体の補助率は1/2以内であるが、個人の補助率も1/2とすることで、新たな野菜作りに取り	J組む意欲的な農業者への後押しとな
		り,本市が目指す野菜生産の拡大や農業の振興に寄与することが見込まれるため。	

# 4平成28年度行政評価への対応状況等

(13 P)(  1   m )	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	市内での冬期野菜生産実態、生産者及び市場ニーズの把握が必要である。
解決に向	けた取組	関係機関と連携しながらニーズの把握や冬期野菜栽培の促進に取り組んでいく。

評価	結果	結 果   理由, 改善・見直しの方向								
1次評価	継続	補助金が創設されて2年目であり、引き続き支援は必要である。								
外部評価		_								
2次評価	継続	効果的な事業となるよう、ニーズを把握したうえで実施すること。								

#### 1補助金の概要

補 助 金 名 称	生産基盤改	<b>生産基盤改善促進事業助成金</b>								
補助金の性格	団体への事	業費補助					始期	H25	終期	_
予 算 事 業 名	生産基盤改	善促進費					(事業=	コード)	0623	306
所 管 部 署		農政 部	農	林整備 課		=	事業 係	電話番号	内線	8-3733
交付先(団体,個人等)	農業協同組	業協同組合(市内4農協)								
交付目的	(対象) 誰,何に対し	認定農業者及び小規模農家								
<b>文</b> 的日的	(意図) どういう状態	意図) 排水不良や石れきの多い条件不利地の整備や区画整理を実施し、営農継続へ向けた支援を ごういう状態にしたい 行い生産性の高い営農体制づくりを進め、耕作放棄地等の発生防止を図る。								
対象事業等の内容	・暗渠排水園・除れき ・除れき ・区画整理	<b>整備</b>								
積算方法	整備事業費 業主体が設		または助成	対象面積10	アール当た	<u>4</u> 50, 000	円を乗じ	た額のいずれ	い低い額を	を上限とし,事
	① 認定農業	業者の申請	数		単位:組	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	18	19	25	19	17					
	① 整備面積	漬			単位∶a	2		•	•	単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	2,814	3,590	3,219	2,871	3,750					

2収支状況等

24	2収支状況等									
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
		前年度繰越								
補品	収	市補助金	9,246	7,664	8,528	8,000	8,000			
対	入	自己負担	10,104	16,311	12,108	15,515	21,630			
補助対象事	内									
事業	訳									
業等		その他								
の	収入	合計	19,350	23,975	20,636	23,515	29,630			
収支状	市補	輔助率(%)	47.8%	32.0%	41.3%	34.0%	27.0%			
文状	支出	台計	19,350	23,975	20,636	23,515	29,630			
況		うち食糧費、交際費								
	次年	度繰越								
	一般	设財源	9,246	7,664	8,528	8,000	8,000			
	特定	三財源								
市台	人	人工   人工	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23			
負担額	件	金額	1,657	1,675	1,695	1,694	1,717			
額	費	臨時・嘱託/会計年度任用職員								
		)他事務費								
	合計		10,903	9,339	10,223	9,694	9,717			
		象者数	19	25	19	17	20			
補」	助金島	単位コスト(単位:円)	573,842	373,560	538,053	570,235	485,850			
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい.	ている ◆ 支出目的	」, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない			
			◆ 交付申請等が定めた。							
盗	団体の運営、適格性		◆ 会計処理が適正である。	る ◆ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的。	との整合性がとれている				
心	计计	会計処理等	<ul><li>◇ 決算における繰越金(</li></ul>							
			交付要綱に基づき,申請書  れている。	『提出を受け審査し交付決	定し,作業現場確認を経て	、完了報告書の検査を行	っており,適正に処理さ			
			※ 人 ,	ᄑᄙᇬᄺᄨᇃᇬᇎᇎᆔ	L	<b>人 45 ー ケ 由っ 000 イ 田</b>	<b>人 100 左 立っっって</b>			

#### 3個別項目に対する証価

يا ت	型別項目に対9 句話		) == /=
	項目	チェック項目等	<b>→</b> 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
_		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
1 補		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
金交付基準と		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)目声1 期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の海	(中で河口又入口)		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
旭			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
工			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	12 10t -> 10t 13	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	\ ≿益性	事業実施によって、担い手農家への農地の集積及び耕作放棄地の発生防止をすることによ	■ 公益性が高い
	- AIII.   A	り,本市農業の将来にわたる安定した営農の確立に寄与する。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	担い手への農地の集積や簡易な除礫れき・暗渠といった条件不利農地の整備することにより	■ 必要性が高い
		生産性が高まることから、農業者及び事業主体の農業協同組合からの強い要望が多くある。	ロー心面性が合いしけることに
		(このは中央によってじのようかが田がもられるかと、中は然にせざれ日はかにつってよ	□ 必要性が高いとは言えない (ナの中容を踏まっての証法)
		(この補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する) 毎年20件前後の受益対象者において事業を実施し,農作業の効率化及び農地の保全が図ら	(左の内容を踏まえての評価)
4亥	力果	毎年20件削後の受益対象者において事業を実施し、農作業の効率化及び農地の保全が図りれた。	■ 効果が高い
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
57	一の他		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	生産基盤改善促進事業助成金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

謀	
解決に向けた取組	

評価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価		前歴の事業を含めると10年以上類似の事業を実施してきてなお農業者からの要望が多く、生産性の高い営農体制づくりを進め、 耕作放棄地等の発生防止を図るために必要な事業である。
外部評価		_
2次評価	継続	_

#### 1補助金の概要

補助金名称	農業用水利	農業用水利施設維持管理事業補助金								
補助金の性格	団体への事	団体への事業費補助						H2	終期	_
予 算 事 業 名	かんがい排	水整備費					(事業コ-	-ド)	06232	21
所 管 部 署		農政 部	農	林整備 課		Ę	事業 係 電	電話番号	内線 8	-3732
交付先(団体,個人等)	土地改良区						·	-		
交付目的	(対象) 誰, 何に対し	対象) 受益農家や受益面積の減少により経営が圧迫され農業用水の維持管理に支障をきたしてい は、何に対して る土地改良区								
עים פון אַ	(意図) どういう状態	にしたい				面的機能の 向上を図る。		農業用水の多	そ定供給で,	土地改良区
対象事業等の内容	施設の適፤	Eな維持管 <sup>:</sup>	理を行うため	の維持管理	里費用の内,	防災等の多	·面的機能	に相当する額	質を補助する	00
積算方法	水利施設(	の維持管理	に要する経済	費のうち87%	以内(限度額	〔130万円)				
	① 交付先因	団体への補	助額		単位∶千円	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300					
	① 洪水発生	主件数			単位:件	2			•	単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績	0	0	0	0	0					

2収支状況等

24	2収支状況等									
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
		前年度繰越								
補	収	市補助金	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300			
切切	入	自己資金	310	214	239	824	200			
補助対象事	内									
事	訳									
業等		その他								
の	収入	合計	1,610	1,514	1,539	2,124	1,500			
収	市補	輔助率(%)	80.7%	85.9%	84.5%	61.2%	86.7%			
支状	支出	d合計	1,610	1,514	1,539	2,124	1,500			
況		うち食糧費、交際費								
	次年	度繰越								
	一般	段財源	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300			
	特定	三財源 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十								
市台	人	正職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05			
負担額	1午	金額	360	364	368	368	373			
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員								
	その	)他事務費								
	合計	t	1,660	1,664	1,668	1,668	1,673			
		象者数	1	1	1	1	1			
補具	助金島	単位コスト(単位:円)	1,660,000	1,664,000	1,668,000	1,668,000	1,673,000			
		共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例	別,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	」, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない			
		,	◆ 交付申請等が定めた。	とおりになっている						
`┷・	団体の運営、		◆ 会計処理が適正である。	る ◆ 設立目的	り, 事業内容等と補助目的。	との整合性がとれている				
迥	格性	会計処理等	◇ 決算における繰越金(							
			会計処理については,会記 正に処理されていると認め			監査から会計監査報告を	受けていることから,適			
				· 亚成20年度7.205千四	一 ボ げっへん 英っ へって 田	$\Delta$ M $\equiv$ $L$ $\Delta$ $\Delta$ $\Delta$ $\Delta$	$\Delta m_0 / m_2 \sim 0.00 T$			

	項目	チェック項目等 <b></b>	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	/ 4 \ -\	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
1補助金交付基準との適合性		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
		◆ 上記以外	■ 合致しない
		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
			口 有(4年以上)
		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
	(4)目店1 期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
			■ 同一団体補助だが、見直し設定し
			ていない
			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する	◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	1700 - 10013	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	\ <b>益性</b>	事業の実施によって防災等の公的機能が発揮され、不特定多数の市民に間接的に効果を発揮している。	■ 公益性が高い
		押している。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	必要性	ダムが担う防災等の公的機能を維持し、農業用水の安定供給により受益農家の経営安定と生産性向上を図るための事業であり、他に代替が利かない。	■ 必要性が高い
		度はPJエを図るための事業であり、PEには自かがからい。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
<b>4</b> ٨	<b>.</b> ⊞	ダムが担う機能のうち、防災等の公的機能の割合である87%を補助することによって、ダムが	■ 効果が高い
4%	力果	適正に管理運営され、防災効果が保たれている。	
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
57	一の他	・基準の補助率には合致しないが、ダムが担う防災等の公的機能の割合をもとに補助率を設定し	
		・基準の見直し期間には合致しないが、ダムが担う防災等の多目的機能を持続的に発揮させるたる。	め,事業として継続的に行う必要があ
		<u>る。</u>	
4.5	7世00年年纪形型		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

	農業用水利施設維持管理事業補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

題 解決に向けた取組

評 価	· 結 果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	ダムを適正に管理し、ダムが担う防災等の公的機能を発揮させるために継続が必要である。
外部評価	_	
2次評価	継続	_

#### 1補助金の概要

補助金名称	民有林等活性	民有林等活性化推進事業補助金(森林整備)								
補助金の性格	団体への事業	団体への事業費補助					始期	R1	終期	_
予 算 事 業 名	森林整備対策	林整備対策費					(事業コー	-ド)	06233	32
所 管 部 署	ı	農政 部 農林整備 課 森材					長興 係 電	話番号	内線 8	-3721
交付先(団体,個人等)	森林組合又は	森林法施	行令第11第	ミ第8号に規	定する団体	(森林所有者	ずの団体)及	び森林経営	計画の認定	を受けた者
交付目的	(対象) 誰, 何に対して					打ちを実施す 本) 及び森林				11条第8号
נים פו נין ב	(意図) どういう状態に		森林所有者進された状態		業体等を支	援することで	で,旭川市内	<b>内の森林の</b> 園	整備が適切	こ推進, 促
対象事業等の内容	下刈り, 除伐	,保育間	伐,間伐,材	対ちに係る	経費を補助	する。				
積算方法	   事業に要した 	_経費の6	8%以内を	補助する。						
	① 補助申請係	牛数			単位:件	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績				0	1					
	① 施業面積	·			単位:ha	2				単位∶
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績				0	10					

2٤	2収支状況等									
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
		前年度繰越								
補助対象事業等	収	市補助金				2,238	5,000			
划対	入	自己負担				1,053	2,353			
象	内									
事業	訳									
未等		その他								
の		、合計				3,291	7,353			
収支		助率(%)				68.0%	68.0%			
支状況	支出合計					3,291	7,353			
況		うち食糧費、交際費								
		度繰越								
	一般財源									
	特定財源					2,238	5,000			
市負	人	正職員  人工				0.5	0.5			
負担額	件費	金額				3,683	3,733			
額		臨時・嘱託/会計年度任用職員								
		他事務費				5.004	0.700			
177	合計					5,921	8,733			
		象者数 単位コスト(単位:円)				5,921,000	4,366,500			
作用.	<u> </u>		▲ 士山坦伽がさみ 久	 例, 規則, 要綱等に基づい	ている ▲ 士山口が		, ,			
		共通事項	<ul><li>▼ 文出依拠が送っ、宋1</li><li>◆ 交付申請等が定めた</li></ul>		ている ▼ 文出日日	1),又田軋囲が法市の税と	に拡張しない			
		団体の運営,	<ul><li>◆ 会計処理が適正であった。</li></ul>		 ウ, 事業内容等と補助目的	レの敕合州がレカブハス				
適	格性	会計処理等		る → 設立日 → 設立日 → (剰余金)が補助額から判断		この正口にからなっている				
		五川及建寺				事業完了後の実績報告を受	け、補助金確定の検査を			
			行っており、適正に処理さ				.,			
						1 A1=	^ T=0 = = = = = = = = = = = = = = = = = =			
		※人件費(正職員分)は, 平成29年度7,205千円, 平成30年度7,282千円, 令和元年度7,369千円, 令和2年度7,366千								

#### 2個別項目に対する証価

J	別別は日に対りる計		
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1/7)が作具	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
1補助		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
公全		◆ 上記以外	■ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
金交付基準との適合性			□ 有(4年以上)
		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	■ 継続4年未満
	(4)見直し期間 (終期設定)	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
			い(対象外)
			□ 同一団体補助だが. 見直し設定し
			ていない
			  □ 奨励目的補助だが,終期を設定し
			ていない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6) 士山ナミエナフ	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する 書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	百枚のが刊	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	\ <del>}\</del> # <del> </del>	森林は、水源のかん養や生物多様性保全及び土砂災害の防止など多くの多面的機能を有して	■ 公益性が高い
27	<b>公益性</b>	おり、それらを発揮、維持させるためには、森林整備(間伐、下刈り、植栽等の施業)が不可欠で	
		あり、これらの整備により不特定多数の市民に間接的に効果を発揮している。	□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
31	4.要性	多くの人工林が利用期を迎えている中、国(道)の補助事業である森林環境保全直接支援事業	
3必要性		で支援の行き届かない森林について、計画的に施業を進める必要性があることから、民有林の	
		森林整備を促進させるため。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	1件の団体へ68%の間伐による事業費補助を行ったことで、光が林内に射し込み下草などの	■ 効果が高い
		下層植生が繁茂することで水源かん養機能や土砂流出防止機能が高まり,ゆえに森林の健全性を確保することができた。	 □ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	T WAY IN CIRCLE
52	の他	INVESTIGATION OF THE PROPERTY	
J-7	, V) IE	国の補助事業である森林環境保全直接支援事業の補助率68%を根拠として補助基準を定めてい	いることから,合致しない。

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

\   ] <b>           </b>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
_	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(スの州の目古し)	

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	
解決に向け	た取組	

	4	
評価	結果	理由,改善・見直しの方向
1次評価	継続	多くの人工林が利用期を迎えている中,国(道)の補助事業である森林環境保全直接支援事業で支援の行き届かない森林について,計画的に施業を進める必要性があることから,民有林の森林整備を促進させるためにも継続的に行っていく必要がある。
外部評価		
2次評価	継続	

#### 1補助金の概要

補助金名称	民有林等活性化推進事業補助金(森林整備促進奨励)								
補助金の性格	団体・個人への事業費	団体・個人への事業費補助					R1	終期	-
予 算 事 業 名	森林整備対策費	<b>木整備対策費</b>						06233	2
所 管 部 署	農政 竒	農	森林排	振興 係 電話番号 内線 8-3721					
交付先(団体,個人等)	北海道の補助事業及	び民有林等活	性化推進事	業(森林整	備)の補助事	業者			
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	北海道の補	北海道の補助事業及び民有林等活性化推進事業(森林整備)の補助事業者						
עים פו עי	(意図) どういう状態にしたい								
対象事業等の内容	北海道の補助事業である森林環境保全整備事業等及び民有林等活性化推進事業(森林整備)における森林整備事業に係る経費を補助する。								
積算方法	補助事業における負担	旦経費の3分の	の1以内を補	助する。					
	① 補助申請件数			単位:件	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績			0	1					
	① 施業面積			単位∶ha	2		•		単位:
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績			0	151					

2収支	<b>状</b> 況等					単位∶千円
		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
	前年度繰越					
補   曲   収	市補助金				2,712	3,000
即  入	自己負担				8,135	6,000
象内						
事 訳						
助対象事業等  収入内訳	その他				23,049	19,125
の 収.	入合計				33,896	28,125
収 市	補助率(%)				8.0%	10.7%
支援支援	出合計				33,896	28,125
況	うち食糧費、交際費					
次生	F 度 繰 越					
	投財源					
	定 <b>財源</b>				2,712	3,000
市    人	正職員  人工				0.5	0.5
負担額	金額				3,683	3,733
	臨時·嘱託/会計年度任用職員					
	の他事務費					
合詞					6,395	6,733
	<b> 象者数</b>				56	60
補助金	単位コスト(単位:円)				114,196	112,217
	共通事項		例,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	り, 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
	,	◆ 交付申請等が定めた				
適格性	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ		内, 事業内容等と補助目的	との整合性がとれている	
ᄤᅋᇻ	会計処理等		(剰余金)が補助額から判し			
		交付要綱に基づき,補助st  行っており,適正に処理さ		受け審査,交付決定し,事業	業完了後の実績報告を受け	,補助金確定の検査を
		フェロッ、過止に処理と	10 CV ~Oo			
			T 平成29年度7.205千円	□ 亚成30年度7,282千円	1. 令和元年度7.369千円.	今和2年度7.366 <del>千</del>

#### 3個別項目に対する証価

J	別別は日に対りる計		
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1/7)が作具	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
4		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
<del>}±</del>	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
<b>则</b>		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交付基準と		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	
準		◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	
	(4)見直し期間		
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが 見直し設定し
適		1 2 1 11 11 11 12 12 1	
性			
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する	◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
		<ul><li></li></ul>	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		森林は、水源のかん養や生物多様性保全及び土砂災害の防止など多くの多面的機能を有して	【生の内谷を聞ぶたこの計画》 ■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	おり、それらを発揮、維持させるためには、森林整備(間伐、下刈り、植栽等の施業)が不可欠で	
		あり、これらの整備により不特定多数の市民に間接的に効果を発揮している。	  □ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
	1.1	(この補助金が必要である理由を,具体的に記入する) 多くの人工林が利用期を迎えている中,計画的な森林整備を進めて行くため国庫補助事業等	【左の内谷を踏まれての評価) ■ 必要性が高い
3业	必要性	を活用しているが、森林整備の促進は事業量の増加につながり森林所有者の負担増となるた	■ 必安はか向い
		め、所有者の負担軽減を図る。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		1件の団体へ北海道の補助事業における負担経費の25%の事業費補助を行ったことで、森林	■ 効果が高い
4%	小木	所有者による森林整備が促進され、森林の有する多面的機能の維持・増進を図ることができた。	
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	一の他		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
_	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果

_	<u>(その他の見直し)</u>	
	見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題
解決に向	]けた取組

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	多くの人工林が利用期を迎えている中、計画的な森林整備を進めて行くため国庫補助事業等を活用しているが、森林整備の促進 は事業量の増加につながり森林所有者の負担増となるため、所有者の負担軽減を図るためにも継続的に行っていく必要がある。
外部評価		_
2次評価	継続	_

#### 1補助金の概要

補助金名称	民有林等活性化推進事業補助金(林業専用道等維持管理)									
補助金の性格	団体への事	団体への事業費補助					始期	R1	終期	-
予 算 事 業 名	森林整備対	策費					(事業コー	-ド)	06233	32
所 管 部 署		農政 部	農	林整備 課		森林捷	長興 係 電	話番号	内線 8	-3721
交付先(団体,個人等)	旭川市森林	組合								
交付目的	(対象) 誰, 何に対し	して		ί又は林業事 Ⅰの林業専用						
נים ה נין ב	(意図) どういう状態	別にしたい		「又は林業事 きる道路を研		<b>林整備や</b> 均	<sup>竟界等現地詞</sup>	凋査等を実加	色するためし	こ林内を安
対象事業等の内容	災害等で通	行不能とな	った道路の征	复旧及び軟弱	<b>弱地等の改</b> 」	良や路面, 路	各肩の草刈り	J等に係る <b>紹</b>	<b>と費を補助</b> す	ける。
積算方法	事業に要し	た経費の2分	分の1以内を	補助する。						
	① 補助申	請件数			単位:件	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績				1	1					
	① 道路整	備延長			単位:m	2				単位:
成果指標と過去5年間の	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績				4,960	69,380					

2収支状況等

24	义文礼	<b>犬況等</b>					単位∶千円
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
		前年度繰越					
補	収	市補助金			1,718	3,392	3,400
划対	入	自己負担			1,718	3,392	3,400
象	内						
事	訳						
助対象事業等		その他					
の	収入	、合計			3,436	6,784	6,800
収支		助率(%)			50.0%	50.0%	50.0%
支状		l合計			3,436	6,784	6,800
況		うち食糧費、交際費					
		度繰越					
	,	b財源 					
	特定財源				1,718	3,392	3,400
市台	人 正職員 金額 費				0.5	0.5	0.5
負担額					3,685	3,683	3,733
額		臨時・嘱託/会計年度任用職員					
	その他事務費				- 400	7.075	7.400
	合計				5,403	7,075	7,133
-		象者数			27	221	230
佣」	リ金 ら	単位コスト(単位:円)	▲ + 1111□1bn 1854 ∧ 871	图 相叫 亚细族与共产	200,111	32,014	31,013
		共通事項		例,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 文出目的	], 支出範囲が法令の規定	に抵触しない
		日はの電台	◆ 交付申請等が定めた			しの軟入性だしたていて	
適	格性	団体の運営,	◆ 会計処理が適正であ		り,事業内容等と補助目的。 51、 双火でもで	との金百性かどれている	
		会計処理等		(剰余金)が補助額から判題 金等交付申請書の提出を登	ਗし, 安ヨでめる 受け審査, 交付決定し, 事業	<b>にまたる。</b> 第二子後の実績報告を受け	・補助金確定のฝ杏を
			行っており、適正に処理さ		之() 留宜, 入门,从之(), 手才	(元) 区の人根代目で入り	,而为亚쀼龙の农丑と
			ツ   歴典(工聯号八)は	ト	1 平成30年度7 282千円	<b>△和二左由7000</b> 年Ⅲ	△和0左由7,000千

#### 2個別項目に対する証価

J	別別は日に対りる計		
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)对涿性貝	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
り全		◇ 上記以外	□ 合致しない
金交付基準と		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	
付			
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	<ul> <li>概ね合致する</li> <li>合致しない</li> <li>合致しない</li> <li>合致しない</li> <li>合致しない</li> <li>合致しない</li> <li>有(4年年以上)</li> <li>継続4年休み(対して)</li> <li>一切はかい</li> <li>同に対しま満しまではない</li> <li>一の数する</li> <li>一の数する</li> <li>一合致する</li> <li>一合致する</li> <li>一合致する</li> <li>一合致する</li> <li>一の数する</li> <li>一の数する</li> <li>一の大を踏まるの評価</li> <li>でありたい</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> <li>(左の内容を踏まえての評価)</li> </ul>
準		◇ 終期未設定で,補助継続4年以上	
ح	(4)見直し期間	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
の	(終期設定)		
適			ていない <ul><li> 奨励目的補助だが、終期を設定していない</li></ul>
適合性			
性			
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	
	/a\+u+=++7	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		<ul><li>↓ 上記以外</li></ul>	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	
		森林は、水源のかん養や生物多様性保全及び土砂災害の防止など多くの多面的機能を有して	
21	<b>公益性</b>	おり、それらを発揮、維持させるためには、森林整備(間伐、下刈り、植栽等の施業)が不可欠で	
		あり、これらの整備により不特定多数の市民に間接的に効果を発揮している。	□ 公益性が高いとは言えない
	, <del></del> .h.4.	災害等により通行不能の状態では通行不能箇所から奥の森林について森林整備や現地調査	
3必要性		が出来ず,森林施業等による多面的機能の維持・増進を図ることが出来ないことから,道路を復	
		旧し通行止を解消する。	□ 必要性が高いとは言えない
4効果		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		旭川市森林組合に対して50%の事業費補助を行ったことで、災害等による通行不能箇所が解	■ 効果が高い
		消され、森林の有する多面的機能の維持・増進を図ることができた。	
		「妹中会会社は進しの海会性」で会みしたい理由について、記書し説明まてこと	□ 効果が高いとは言えない
	- 11	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
53	一の他		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
_	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	
解決に向い	ナた取組	

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		災害等により通行不能の状態では通行不能箇所から奥の森林について森林整備や現地調査が出来ず,森林施業等による多面的機能の維持・増進を図ることが出来ないことから,継続的に行っていく必要がある。
外部評価		
2次評価	継続	_

#### 1補助金の概要

補 助 金 名 称	普及啓発活動支援補助	<b></b>							
補助金の性格	団体への事業費補助 始期 始期					始期	R1	終期	_
予 算 事 業 名	木材利用·普及啓発推	進費				(事業コー	(ド)	06233	2
所 管 部 署	農政 部	農	林整備 課		森林捷	長興 係 電	話番号	内線 8-	-3721
交付先(団体,個人等)	市内に活動拠点を置く	団体で, 過去	2年以上の	活動実績を	有し, 団体責	〔任者, 会計	, 監査が設	置されてい	る者
交付目的	(対象) 誰, 何に対して		₹利用木材の は点を置く団体		いて, 市民	等に普及啓	発活動を実	施することだ	「可能な市
נים פו ניו אַ	(意図) どういう状態にしたい	間伐材や未林・林業に対	₹利用木材な 対する意識 <i>0</i>			市民に講習:	会等を通じて	で普及啓発を	を図り,森
対象事業等の内容	間伐材や未利用木材	などの利活	用の推進を関	目的とした市	ī民を対象と	する講習会	等に係る経済	費を補助する	<b>3</b> .
積算方法	事業に要した経費の2分の1以内を補助する。ただし、飲食費や交際費は対象としない。								
	① 補助申請件数			単位:件	2				単位:
事業量指標と過去5年間	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
の実績			1	0					
h = 11.1= = 1	① 活動参加人数			単位:人	2		•		単位:
成果指標と過去5年間の	H28 H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02
実績			20	0					

2収:	2収支状況等							
			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
	育	前年度繰越						
補	収	<b></b>			107		300	
44   .	入	自己負担			107		300	
象 !	内							
事	訳 ""							
補助対象事業等	7	その他						
の世	又入台	<b>合計</b>			214		600	
坚 7	<b></b> 村補月	助率(%)			50.0%		50.0%	
収支状	支出台	<b>今計</b>			214		600	
況	Š	ち食糧費、交際費						
2	欠年月	<b></b>						
<u> </u>	一般貝	<b></b> 財源						
-	寺定則	<b></b>			107		300	
市負担額	ᆺᅵ <sub>ᡕ</sub>	E職員 人工			0.5		0.5	
担担	件丨	金額			3,685		3,733	
		時·嘱託/会計年度任用職員						
_		也事務費						
	計				3,792		4,033	
		者数			20		40	
補助	金単	位コスト(単位:円)			189,600		100,825	
   共通事項		共通事項		列,規則,要綱等に基づい	ている ◆ 支出目的	], 支出範囲が法令の規定	<b>ミに抵触しない</b>	
			◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
団体の運営, 適格性 会計処理等			◆ 会計処理が適正である		内, 事業内容等と補助目的。	との整合性がとれている		
		会計処理等		(剰余金)が補助額から判断				
			- 交付要綱に基つき,補助 行っており,適正に処理さ		受け審査, 交付決定し, 事	<b>兼元 ∫ 俊の実績報告を</b> 党	だけ,補助金確定の検査を	
			11.2 (60), 過止に定任じ	10000				
			ツール弗(工融号八)は	- 亚世20年度7,205千円	1 平成30年度7.282千円	△和二左曲7,000 € □	1	

	項目	チェック項目等	➡ 評価
	次口		<u> </u>
		<ul><li>→ 手来員は調査, 切修, 恋祝云寺と刈家が</li><li>◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外</li></ul>	■ ロ玖りつ
	(1)対象経費	· ·	
			□ 概ね合致する
			□ 合致しない
	/a\ \vi \ \tau \ \tau \		■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	- A Thi to
			□ 合致しない
1			■ 合致する
補	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補助金交付基準と	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金			□ 合致しない
交		·	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基			□ 継続4年未満
準	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体, 奨励目的補助ではな
	(終期設定)		い(対象外)
の海	(#C 74) HX 7C 7		□ 同一団体補助だが、見直し設定し
迎合			ていない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定し
1			ていない
	(5)交付規程		■ 合致する
	(支出根拠)		□ 合致しない
			■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時,実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本,帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	日人(マン)が「」	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
			(左の内容を踏まえての評価)
2/1	· 公益性	一般市民等を対象とした講習会等の開催に係る経費を補助するものである。	■ 公益性が高い
21	X III   I		
			□ 公益性が高いとは言えない
		The same of the sa	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性			■ 必要性が高い
		活動団体への助成を行うことで、講習会等を通じて一般市民に広く伝えることが可能となる。	- V = 4 / S = 1
			□ 必要性が高いとは言えない
4効果			(左の内容を踏まえての評価)
		令和元年度において1件の団体へ50%の事業費補助を行ったことで、一般市民に未利用材の 有効活用を図り、市民に森林・林業に対する意識の醸成が図られた。	■ 効果が高い
			□ 効果が高いとは言えない
53	の他		
	, V) (L)		

# 4平成28年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
	<u> </u>
_	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見直し)

(での他の先世し)	日体的な中央に対象
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	
解決に向	けた取組	

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	間伐等の際に発生する未利用林地残材の現状について、一般市民に広く伝えるためにも継続的に行っていく必要がある。
外部評価	_	_
2次評価	継続	

#### 1補助金の概要

補助金名称	林業担い手確保・育成支援補助金							
補助金の性格	団体・個人への事業費補助	始期 R2 終期 —						
予 算 事 業 名	林業担い手確保・育成支援費	(事業コード) 062354						
所 管 部 署	農政 部 農林整備 課 森林振	辰興 係 電話番号 内線 8-3721						
交付先(団体, 個人等)	中型林業機械:旭川市内に本社を有する林業事業体	大型林業機械:北海道林業事業体登録業者のうち,旭川市内に本社を有する林業事業体 中型林業機械:旭川市内に本社を有する林業事業体 N型林業機械:旭川市内に本社を有する林業事業体又は,旭川市内に居住する林業従事者						
交付目的	(対象) 誰,何に対して 旭川市内に本社を有する林業事業体又は,旭	川市内に居住する林業従事者						
נים בו ניו	(意図) 林業機械等の導入を支援することで、旭川市内 どういう状態にしたい 態にする。	内の森林の整備が適切に推進, 促進されたり						
対象事業等の内容	大型林業機械:1台当たり400万円を超える林業機械等を導入する経中型林業機械:1台当たり60万円から400万円までの林業機械等を導小型林業機械:1台当たり30万円から60万円までの林業機械等を導	導入する経費を補助する。						
積算方法	大型林業機械:事業に要した経費の2分の1以内かつ補助金上限額1 中型林業機械:事業に要した経費の2分の1以内かつ補助金上限額2 小型林業機械:事業に要した経費の3分の1以内かつ補助金上限額2	200万円を補助する。						
+ * E * E   V	① 補助申請件数 単位:件 ②	単作						
事業量指標と過去5年間 の実績	H28 H29 H30 R01 R02 H28	H29 H30 R01 R02						
の大限	3							
	① 林業機械等台数 単位:台②	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
成果指標と過去5年間の 宝徳	H28 H29 H30 R01 R02 H28	H29 H30 R01 R02						
実績	3							

2収支状況等 単位·千円

2収支状況等					単位∶千円		
		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
	前年度繰越						
補収	市補助金				19,550	26,000	
別 入	自己負担				19,550	56,990	
象内							
事							
補助対象事業等	その他					22,660	
の 収力	入合計				39,100	105,650	
収 市社 支比	補助率(%)				50.0%	24.6%	
文版支出	出合計				39,100	105,650	
況	うち食糧費、交際費						
次年	年度繰越						
— 舟	<b>投財源</b>						
	<b>定財源</b>				19,550	26,000	
南 人	正職員				0.5	0.5	
負担額	金額				3,683	3,733	
	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	の他事務費						
合言					23,233	29,733	
	<b>├象者数</b>				3	8	
補助金	単位コスト(単位:円)				7,744,333	3,716,625	
共通事項 団体の運営, 適格性 合計の理答			例,規則,要綱等に基づし	ハている ◆ 支出目的	的, 支出範囲が法令の規定	こに抵触しない こうしょう	
		◆ 交付申請等が定めたとおりになっている					
		◆ 会計処理が適正であ			りとの整合性がとれている		
ᄤᄱ	会計処理等		(剰余金)が補助額から判		古类ウラル o 中体セル	ᅙᆚᆥᇝᄼᅓᄼᇬᄊ	
		父付要綱に基つき,補助  査を行っており,適正に処		を受け番金、父付决定し、	事業完了後の実績報告を	で受け、補助金確定の検	
			2.22.10.00				
		※ 人 件 费 ( 正 職 昌 分 ) /-	+ 亚世の左曲2005年5	ロー 正 亡 0 0 左 告 2 0 0 0 ズ [	D 010 - 5 - 5 - 6 - 6 - 6 - 7 - 7	D A1-0	

عار ت	項目	チェック項目等		→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外		<u></u> 合致する
	/ . \ .	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外		
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象		概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象		合致しない
		◆ 適正な負担を設定		合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定		
		◇ 上記以外		合致しない
		◆ 団体 1/2以内		合致する
坩	(3)補助率の参考	◆ 個人 1/3以内		
肋	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内		
補助金交付基準と		◇ 上記以外		合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)		有(4年未満)
付				有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定		継続4年未満
準	(4)見直し期間	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上		同一団体、奨励目的補助ではな
との	(終期設定)			い(対象外)
海	(11/2 /4) 11/2 //2 /			同一団体補助だが、見直し設定
心				していない
適合性				奨励目的補助だが、終期を設定
-			$ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{ld}}}}}}$	していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅		合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	_	合致しない
		◆ 実績報告時,支出証拠書類提出有		合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	<u> </u>	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	╽╙	概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	H	A 761 4515
		◇ 上記以外 (このはいるのひせばた 目はかに記すせる)		合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) カラマツやトドマツ等の人工林が利用期を迎え, 年々増加する森林整備を効率的に良好に		の内容を踏まえての評価) 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	推進するため、林業機械等の導入支援により、森林の持つ水源のかん養や土砂災害の防止	-	公金はか同じ
	· ,	など多くの多面的機能を発揮、維持させることができ、ゆえに不特定多数の市民に間接的に		
		効果を発揮している。		公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する)		の内容を踏まえての評価)
3必要性		年々増加する伐採量への対応には林業機械の導入が不可欠であるが、一方では木材価格		必要性が高い
		の低迷や植林経費の増加などにより設備投資が難しいことを踏まえ, 適切な森林管理の効果 を発揮させるため林業機械の導入支援が必要である。	┢	必要性が高いとは言えない
4 ±1 ==		(この補助金によってどのような効果があったのかを,実績等に基づき具体的に記入する)	_	の内容を踏まえての評価)
		3件の林業事業体へ50%の事業費補助を行ったことで、林業機械導入による施業の効率		効果が高い
4亥	]朱	化が図られ、林業事業体や従事者の体制強化につながり、また、安全性の向上により若年層		
		が林業の担い手として活躍できる環境を確保することができた。		効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。		
53	の他			

#### 4平成28年度行政評価への対応状況等

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
_	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の見直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 解決に向けた取組

<u> 0 至 14 的計1</u>	Щ	
評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		年々増加する伐採量への対応には林業機械の導入が不可欠であるが,一方では木材価格の低迷や植林経費の増加などにより設備投資が難しいことを踏まえ,適切な森林管理の効果を発揮させるためにも継続的に行っていく必要がある。
外部評価	_	_
2次評価	継続	
4 L CT 188 444 4± 4		+